

2026年度

沖野上1号雨水幹線築造工事 実施設計書

福山市草戸町五丁目地内

建設リサイクル法対象工事

工
事
概
要

工事延長	L=	80.6	m
函渠工(□2000×1600)	L=	59.2	m
函渠工(□2000×1900)	L=	7.4	m
管渠工(φ1500)	L=	14.0	m
付帯工		1	式

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局施設部施設整備課の発注する工事に適用する。

第2節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市建設工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔(公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行い、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降40日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第3節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等については、監督員に協議をし確認を求めること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

第4節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

- ①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
- ②工事用地等の確保が完了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任

（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

- ④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

2. 主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

- ①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
- ②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
- ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

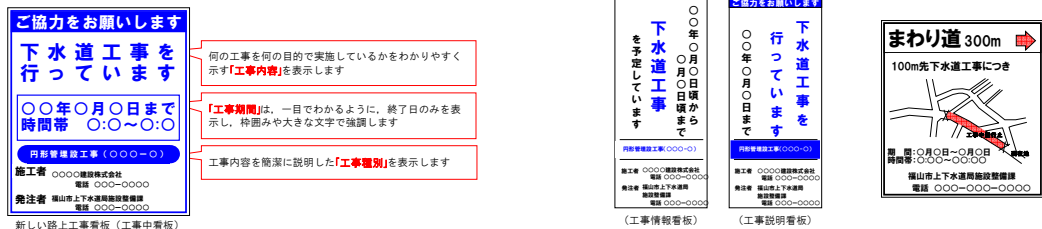
第2章 施工

第1節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

第2節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設設置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板的設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



第3節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行うこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当日標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Bとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Aを誘導員あたり1名以上配置すること。

第4節 管路及びマンホール

- 1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－1〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 3. 下水道用鑄鉄製マンホールふたは、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（高機能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鑄鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 5. 下水道用鑄鉄製防護ふたは、「福山市型鑄鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鑄鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第5節 現場管理

- 1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
- 2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。なお、運搬機械からの直接投入は行わず、機械投入とすること。
- 3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
- 4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
- 5. 小黑板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黑板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員に提出すること。

第6節 地下埋設物

- 1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
- 2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者に提出すること。

第7節 環境対策

- 1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
- 2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかにについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後3年間保存すること。
- 3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
- 4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
- 5. 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第3次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第8節 工事用地

- 1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第9節 情報共有システムの利用

- 1. 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
- 2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム <http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- 3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引(土木工事)」に基づき運用すること。

第3章 材料

第1節 埋戻材（処理土）

- 1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- 2. 1により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
- 3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
- 4. 工事完了時には、伝票及び試験結果等を提出すること。
- 5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

判定指標	基準値
最大粒径	50mm以下
コーン指数	800KN/㎡以上

第4章 建設副産物

第1節 建設発生土

- 1. 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
- 2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第2節 建設汚泥

- 1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- 2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- 3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行うこと。
- 4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行うこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第4節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
建設発生土について、500m³以上（一時たい積場については500m³/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時たい積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m²以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第5節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。あわせて、500m³以上の土砂を工事現場から搬出する場合には、「再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票」について作成と現場掲示すること。

第5章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
 - （1）補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行うこと。

施 工 条 件 表

対象工事名 : 沖野上1号雨水幹線築造工事

項目	事 項	該 当		内 容						
① 計 画 準 備 関 係	施工計画書等の提出	●	あ り	○	な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。				
		●	あ り	○	な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。				
	変更図面の作成	●	あ り	○	な し	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。				
	取付ますの設置	○	あ り	●	な し	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。				
	誓約書の提出	●	あ り	○	な し	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。				
	協議	●	あ り	○	な し	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。				
						関係機関	事項	協議の内容	備考	
						関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など		
						沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態		
						その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明		
段階確認	●	あ り	○	な し	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。					
情報共有システム	●	あ り	○	な し	設計金額3，500万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。					

項目	事 項	該 当		内 容					
② 工 程 関 係	工事期間	● あ り ○ な し		工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし40日間を、検査期間は14日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。					
				☒ 準備期間	☒ 本工事施工期間	☐ 建物等調査期間	☒ 変更協議期間	☐	
				☒ 後片付け期間	☒ 検査期間	☐ 水道管移設期間	☐ ガス管移設期間	☐	
	関連する別途工事	● あ り ○ な し		本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。					
				関連工事の名称		発注者名		予定期間	備考
				2026年度自動運転実証実験実施業務		福山市		2026/7/8～2027/2/26	
	制約条件	● あ り ○ な し		施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。					
				場所 全体	制約の要因 円滑な交通の確保	制約の内容 施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。		備考	
		○ あ り ● な し							
③ 用 地 関 係	借地	● あ り ○ な し		次のとおり、借地を見込んでいる。					
				場所 五本松公園	目的 施工ヤード	面積 380 m2	使用後の処置 別途協議による	備考	
	工事用地	○ あ り ● な し		工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。					
				場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考	
			○ あ り ● な し						

項目	事	項	該	当	内				容				
④ 周 辺 環 境 保 全 関 係	建設公害の処置	●	あ	り	○	な	し	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。					
								項目		処理方法		備考	
								建設機械（全般）		排ガス対策型の使用			
	建物等の調査	○	あ	り	●	な	し	一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。					
								調査内容	調査項目	数量	備考		
	井戸の調査及び その他の調査等	○	あ	り	●	な	し	一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。					
								調査内容	調査項目	数量	備考		
	六価クロム溶出試験 の実施	●	あ	り	○	な	し	次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。					
								場所	工種	配合設計段階検体数	施工後段階検体数	工法	備考
								開削部	埋戻工	一 検体	1 検体	埋戻工	試験方法5
								合計		1 検体			
濁水・湧水の処理	●	あ	り	○	な	し	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。						
	○	あ	り	●	な	し							

項目	事 項	該 当		内 容				
⑤ 安全対策関係	近接施工	● あ り	○ な し	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。				
				場所	近接する施設	条件	備考	
				開削部	電線、水道管、排水管	近接箇所の人力掘削		
	作業時間内の埋戻復旧	○ あ り	● な し	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日を実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。				
⑥ 埋戻関係	処理土	● あ り	○ な し	処理土の購入先は、広島県が公表する建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。				
	流用土（現場内流用）	○ あ り	● な し					
	流用土（他工事流用）	○ あ り	● な し	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難しい場合は、別途、協議すること。				
				他工事名	搬入場所	搬入時期	備考	
	真砂土	○ あ り	● な し					
	品質管理	● あ り	○ な し	品質管理頻度	埋戻土量・試験回数	試験方法	(次のいずれか)	
埋戻土量500m3につき1回 ただし、50m3未満の場合は 省略できる。					簡易貫入試験 (土研式円すい貫入試験)		市道 14回以上/10cm 県道 17回以上/10cm	
					現場密度試験		95%以上	(複数回の場合異なる層、位置で実施)

項目	事 項	該 当		内 容			
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	●	あり	○	なし	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。	
	建設汚泥（泥土）	○	あり	●	なし	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。	
						種別	搬出場所
	建設汚泥（泥水）	○	あり	●	なし	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。	
						種別	搬出場所
	特定建設資材の廃棄物	●	あり	○	なし	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。	
						種別	搬出場所
						アスファルト殻	福山市瀬戸町地頭分字大風呂乙261
						コンクリート殻	福山市加茂町字北山992
	建設副産物情報交換システム	●	あり	○	なし	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。	
	広島県土砂の適正処理に関する条例	○	あり	●	なし	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。	
		○	あり	●	なし		
		○	あり	●	なし		

項目	事 項	該 当		内 容						
⑧ 仮設関係	土留	●	あり	○	なし	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。				
						場所	工法	土留種別	備考	
						開削部	鋼矢板圧入工	鋼矢板Ⅱ型		
	仮設(土留)材料の残置	○	あり	●	なし	次のとおり、工事終了後も仮設(土留)材料を残置すること。				
						場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
	路面覆工	○	あり	●	なし	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。				
						場所	覆工幅	覆工延長	仕様	備考
	覆工材料の残置	○	あり	●	なし	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。				
						場所	仕様	数量	付属部材	備考
	水替	●	あり	○	なし	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。				
	仮設電力設備	●	あり	○	なし	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。				
						場所	設備の種類			備考
開削水替工						☒ 発動発電機 ☐ 低圧受電 ☐ 高圧受電				
						☐ 発動発電機 ☐ 低圧受電 ☐ 高圧受電				
		☐ 発動発電機 ☐ 低圧受電 ☐ 高圧受電								
一般搬入道路	●	あり	○	なし	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
					搬入道路	期間	時間	工事中・後の処置	備考	
					全ての道路	工事期間	8時～17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合	
仮設道路	○	あり	●	なし	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
					期間	安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考	

項目	事 項	該 当		内 容			
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	○ あ り ● な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。				
			場所	確認物件	方法	備考	
	本工事に含まれる移設工事	○ あ り ● な し	本工事では、次の移設工事を含んでいる。				
			場所	移設物件	移設の形態		
	工事支障物件	○ あ り ● な し	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。				
			場所	支障物件	内容	備考	
	○ あ り ● な し						
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	● あ り ○ な し	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。				
			場所	数量・区分等	工法	プラント	備考
			開削部底部	仕様書の通り	二重管ストレーナ工法	場内	
	推進工法	○ あ り ● な し	次のとおり、推進工法を見込んでいる。				
			区間	工法	備考		
	○ あ り ● な し						

項目	事 項	該 当		内 容
⑪ その他	取付ますの請求額	☐ あ り	☒ な し	
	その他の図面	☒ あ り	☐ な し	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（２０２６年４月１日改訂版）に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管 の位置調査	☐ あ り	☒ な し	
	工事完成のお知らせ	☒ あ り	☐ な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」を配布すること。
		☐ あ り	☒ な し	
		☐ あ り	☒ な し	
		☐ あ り	☒ な し	
		☐ あ り	☒ な し	

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.07.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事 (2) 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
函きょ施設(開削工法)					Y1101 レベル1
	1	式			
函きょ工(開削)					Y110101 レベル2
	1	式			
函きょ土工					Y11010101 レベル3
	1	式			
函きょ掘削					Y1101010101 レベル4
		式			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外					SPK25040001 00
	150	m3			単第0 -0001 表
既設構造物撤去					Y1101060901 レベル4
		式			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00
	185	m3			単第0 -0002 表
コンクリートはつり 平均はつり厚3cm以下					SPK25040112 00
	4	m2			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
函きょ埋戻					Y1I01010102レベル4
埋戻し		式			
最大埋戻幅1m以上4m未満	440	m3			SPK25040020 00 単第0 -0004 表
埋戻 流動化処理土 コンクリートポンプ車打設	70	m3			SPK25040157 00 単第0 -0005 表
基面整正		m2			Y1A01020104レベル4
基面整正	208	m2			SPK25040017 00 単第0 -0006 表
発生土処理		式			Y1I01010103レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)	150	m3			SPK25040002 00 単第0 -0007 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 再資源化施設	150	m3			F0000001003 00

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理		m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	185	m3			SPK25040155 00 単第0 -0008 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co殻受入費 再資源化施設	185	m3			F0000001002 00
埋戻土運搬		式			Y1I01010104レベル4
流動化処理土運搬 アジテータトラック 混合容量5.0m3	70	m3			V0000001001 00 単第0 -0009 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)	490	m3			SPK25040002 00 単第0 -0011 表
処理土	580	m3			F0000001004 00
函きょ据付工	1	式			Y1I010102 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
PC函きよ		m			Y1101010207レベル4
ボックスカルバート 据付 1.25<B 2.5_1.25<H 2.5 ボックスカルバート(各種)	62.0	m			SPK25040092 00 単第0 -0012 表
ボックスカルバート 据付 1.25<B 2.5_1.25<H 2.5 ボックスカルバート(各種)	4.3	m			SPK25040092 00 単第0 -0012 表
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×2002	8	本			F0000002001 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×2002 側壁開口 φ350	1	本			F0000002002 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×2002 差筋アンカー付	2	本			F0000002003 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×2002 フランジ金具付	2	本			F0000002004 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1112	1	本			F0000002005 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1144	2	本			F0000002006 00

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1465/1243	1	本			F0000002007 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1559/1337	7	本			F0000002008 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1559/1337 側壁開口 φ 350	1	本			F0000002009 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1559/1337 側壁開口 φ 400	1	本			F0000002010 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1546/1372	1	本			F0000002011 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1600×1606/1432	9	本			F0000002012 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1900×1617 側壁開口 φ 350、差筋アンカー付	1	本			F0000002014 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1900×1686/1046	1	本			F0000002015 00
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1900×1686/1046 側壁開口 φ 350	2	本			F0000002016 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
PCボックスカルバート(TBコーキング工法) 2000×1900×1686/1046 差筋アンカー付	1	本			F0000002018 00
プレキャスト版 2000×1930×150 側壁開口φ1620、Yインサート付	1	枚			F0000002101 00
プレキャスト版 2000×1960×150 側壁開口φ1620、Yインサート付	1	枚			F0000002102 00
フランジ金具 M16 HTボルト、ナット、ワッシャー	8	組			F0000002103 00
高弾性接着剤 20×15	261	m			F0000002104 00
高弾性接着剤 30×30	10	m			F0000002105 00
バックアップ材 φ30×2	10	m			F0000002106 00
かごマット(スロープ型) 【かご厚さ,かご本体材質】 【詰石種類,詰石規格】		m2			Y1A01071309レベル4
かごマット設置(スロープ型) かご厚さt=50cm 亜鉛アルミメッキ 割栗石径15～20cm	8	m2			SPK25040210 00 単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
巻きコンクリート 【Co規格,養生費,Co夜間割増の有無】		m3			Y1A01111410レベル4
1号巻コンクリート 2600×2407×450	1	箇所			V0000002001 00 単第0 -0014 表
2号巻コンクリート 2600×2200×300	1	箇所			V0000002002 00 単第0 -0018 表
3号巻コンクリート 2600×1900×300	2	箇所			V0000002003 00 単第0 -0019 表
函きよ基礎		m			Y1I01010301レベル4
グラントセル材料	1	式			V0000003001 00 単第0 -0020 表
グラントセル展開・小運搬配置	411	m2			V0000003002 00 単第0 -0021 表
不織布配置	206	m2			V0000003003 00 単第0 -0022 表
アンカーピン打設	402	本			V0000003004 00 単第0 -0023 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
充填・転圧					V0000003005 00
管布設工	206	m2			単第0 -0024 表 Y11010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 【管規格】	1	式			Y1101010203レベル4
		m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 150mm					SG1D0006001 00
	0.8	m			単第0 -0026 表
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 300mm					SG1D0006001 00
	15	m			単第0 -0027 表
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 350mm					SG1D0006001 00
	4	m			単第0 -0028 表
既設管閉塞 φ800用					V0000004001 00
	1	箇所			単第0 -0029 表
キャップ φ150,外蓋					TH011504 00
	2	個			
強化プラスチック複合管 【管規格】					Y1101010204レベル4
		m			

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
強化プラスチック複合管布設工 呼び径 1,500mm	14	m			SG1D0007001 00 単第0 -0032 表
強化プラスチック複合管 φ 1500 × 4000 外圧管2種	14	m			F0000004001 00
管路土留工	1	式			Y1I010105 レベル3
鋼矢板土留(鋼矢板)		式			Y1I01010508 レベル4
鋼矢板圧入(Nmax 25) 陸上施工 2型 圧入長(m)_6以下	36	枚			S0440 00 単第0 -0034 表
鋼矢板引抜き 陸上施工 2型 引抜長(m)_6以下	36	枚			S0454 00 単第0 -0037 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (Nmax 25) II型	1	回			S0458 00 単第0 -0038 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き II型	1	回			S0458 00 単第0 -0039 表
鋼矢板2型賃料 1回使用 供用日数34日	9.5	t			S0850 00 単第0 -0040 表

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
切梁・腹起し		式			Y1101010509レベル4
切梁・腹起し設置,撤去 設置	4.1	t			S1050039 00 単第0 -0041 表
切梁・腹起し設置,撤去 撤去	4.1	t			S1050039 00 単第0 -0042 表
鋼製山留材質料 1回使用 供用日数31日	3.3	t			S0856 00 単第0 -0043 表
補助地盤改良工	1	式			Y11010108 レベル3
薬液注入		式			Y1101010801レベル4
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式 (2セット) 総削孔長= 2 . 5 m	40	本			S0740 00 単第0 -0044 表
注入設備据付・解体 二重管ストレーナ工法 (2 セット)	1	現場			S0746 00 単第0 -0045 表
開削水替工	1	式			Y11010109 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
開削水替					Y1I01010901レベル4
		式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	82	日			単第0 -0047 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	1	現場			単第0 -0049 表
付帯工					Y1I0106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y1I010601 レベル3
	1	式			
舗装版破碎(小規模)					Y1I01060103レベル4
		m2			
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m2未満	46	m2			SS000117 00 単第0 -0050 表
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK25040018 00
	70	m2			単第0 -0051 表
殻運搬処理					Y1I01060105レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)	4	m3			SPK25040155 00 単第0 -0052 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻受入費 再資源化施設	4	m3			F0000001001 00
管路土工	1	式			Y1I010602 レベル3
管路掘削		式			Y1I01060201レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	10	m3			SPK25040001 00 単第0 -0001 表
発生土処理		式			Y1I01060203レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)	10	m3			SPK25040002 00 単第0 -0007 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土受入費 再資源化施設	10	m3			F0000001003 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
上層路盤(歩道部)		m2			Y1I01060305 レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	46	m2			SPK25040238 00 単第0 -0053 表
ブロック舗装(インターロッキング)		m2			Y1I01060314 レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 標準品 [規]100m2未満	46	m2			SS000115 00 単第0 -0054 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
上層路盤(歩道部)		m2			Y1I01060405 レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	70	m2			SPK25040238 00 単第0 -0053 表

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(歩道部)		m2			Y1I01060409レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	70	m2			SPK25040247 00 単第0 -0055 表
道路付属物撤去工					Y1I010606 レベル3
	1	式			
防護柵撤去工(ガードレール)		m			Y1I01060615レベル4
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)	10	m			SS000127 00 単第0 -0056 表
立入・横断防止柵撤去工		m			Y1I01060616レベル4
横断・転落防止柵 防護柵撤去 土中建込 ビーム式・パネル式	3	m			SS000153 00 単第0 -0057 表
横断・転落防止柵 ビーム又はパネルの撤去					SS000155 00
	6	m			単第0 -0058 表
立入防止柵撤去 支柱高2m以下	20	m			F0000006002 00

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック撤去		m			Y1I01060618レベル4
歩車道境界ブロック撤去 再利用	22	m			SPK25040292 00 単第0 -0059 表
現場発生品運搬		回			Y1I01060621レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	0.2	t			SPK25040411 00 単第0 -0060 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ	0.2	t			F0000006001 00
道路付属物復旧工	1	式			Y1I010607 レベル3
ガードレール		m			Y1I01060706レベル4
防護柵設置工(Gr) 土中建込 - 塗装品_Gr-B-4E [規]21m未満	10	m			SS000121 00 単第0 -0061 表

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
横断防止柵		m			Y1I01060708レベル4
横断・転落防止柵 土中建込 ビーム式・パネル式 [規]50m未満 材料別途	3	m			SS000141 00 単第0 -0062 表
横断・転落防止柵 ビーム又はパネルの設置 -	6	m			SS000149 00 単第0 -0063 表
歩車道境界ブロック		m			Y1I01060709レベル4
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜片面R 再利用設置 RC-40	22	m			SPK25040290 00 単第0 -0064 表
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B 2名配置	152	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
役務費					Z0003
役務費					YZZ03 レベル2
	1	式			
役務費					YZZ03001 レベル3
	1	式			
借地料 土地の借上げ等に要する費用					YZZ03001001 レベル4
		式			
借地料					F0000001010 00
	1	式			
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬費		t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0065 表
準備費					Z0005
準備費	1	式			YZZ05 レベル2
準備費	1	式			YZZ05001 レベル3
木根等処分費		式			YZZ05001001レベル4
敷鉄板設置	201	m2			S1050041 00 単第0 -0068 表
敷鉄板撤去	201	m2			S1050043 00 単第0 -0070 表
敷鉄板賃料 22×1219×2438,513kg/枚 賃貸期間80日	68	枚			S1050029 00 単第0 -0071 表

本工事費 内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(機械施工)	500	m2			SPK25040183 00 単第0 -0072 表
整地(伐木除根)	500	m2			SPK25040185 00 単第0 -0073 表
運搬(伐木除根) 機械施工 除根作業有り DID区間有り 運搬距離10.0km以下(8.5km超)	55	m3			SPK25040189 00 単第0 -0074 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
伐木処分費	55	m3			F0000001007 00
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
土質試験費		式			YZZ06001001 レベル4

本工事費 内訳表

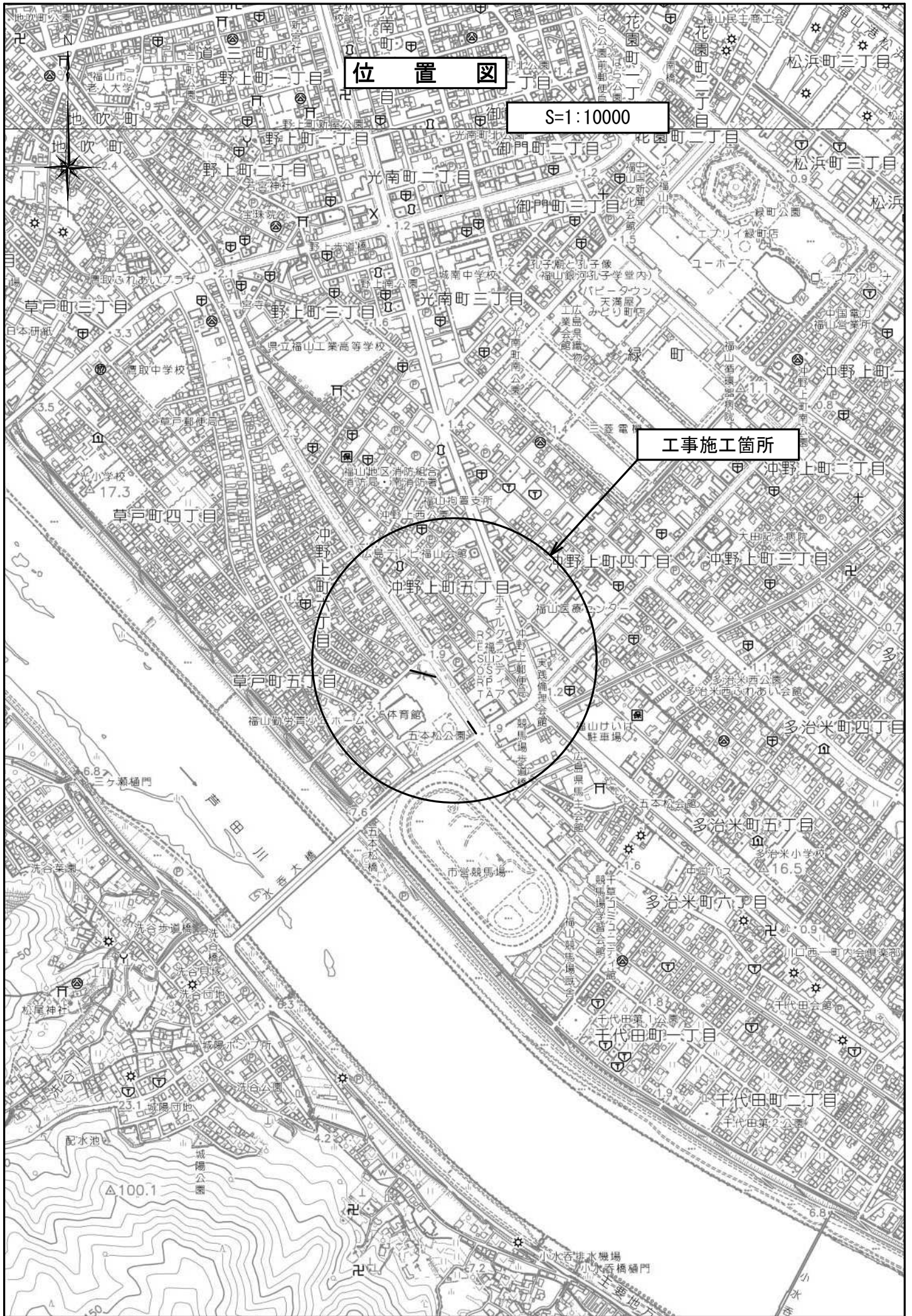
頁0 -0021

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【設計経費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0048
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法5	1	試料			TH003920 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

頁0 -0022

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費					
計算情報.....					
対象額.....					当初請対額
率.....					当初対象額
一般管理費計					
＊ ＊ 工事価格 ＊ ＊					
＊ ＊ 消費税相当額 ＊ ＊					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
＊ ＊ 工事費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 契約保証費計 ＊ ＊					



位置図

S=1:10000

工事施工箇所

福山市上下水道局

2026年度（令和8年度）

工事名称

沖野上1号雨水幹線築造工事

工事場所

福山市草戸町五丁目地内

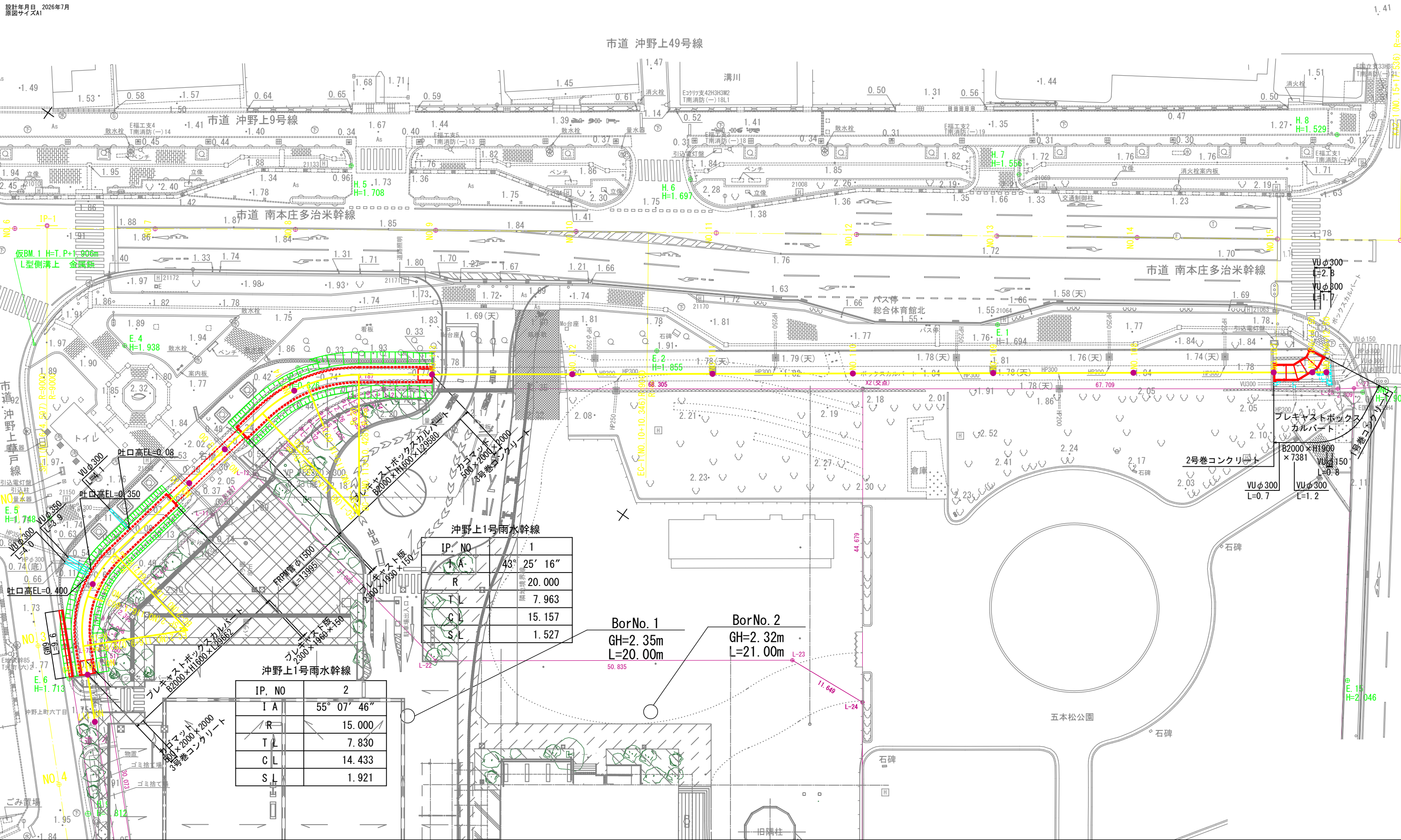
図面番号

1/16 縮尺 図示

平面図

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

平面図
S=1:250



沖野上1号雨水幹線		
IP: NO	1	
I A	43° 25' 16"	
R	20.000	
T L	7.963	
C L	15.157	
S L	1.527	

沖野上1号雨水幹線		
IP, NO	2	
I A	55° 07' 46"	
R	15.000	
T L	7.830	
C L	14.433	
S L	1.921	

BorNo. 1
GH=2.35m
L=20.00m

BorNo. 2
GH=2.32m
L=21.00m

福山市上下水道局

2026年度（令和8年度）

工事名称

沖野上1号雨水幹線築造工事

工事場所

福山市草戸町五丁目地内

図面番号

2/16

縮尺

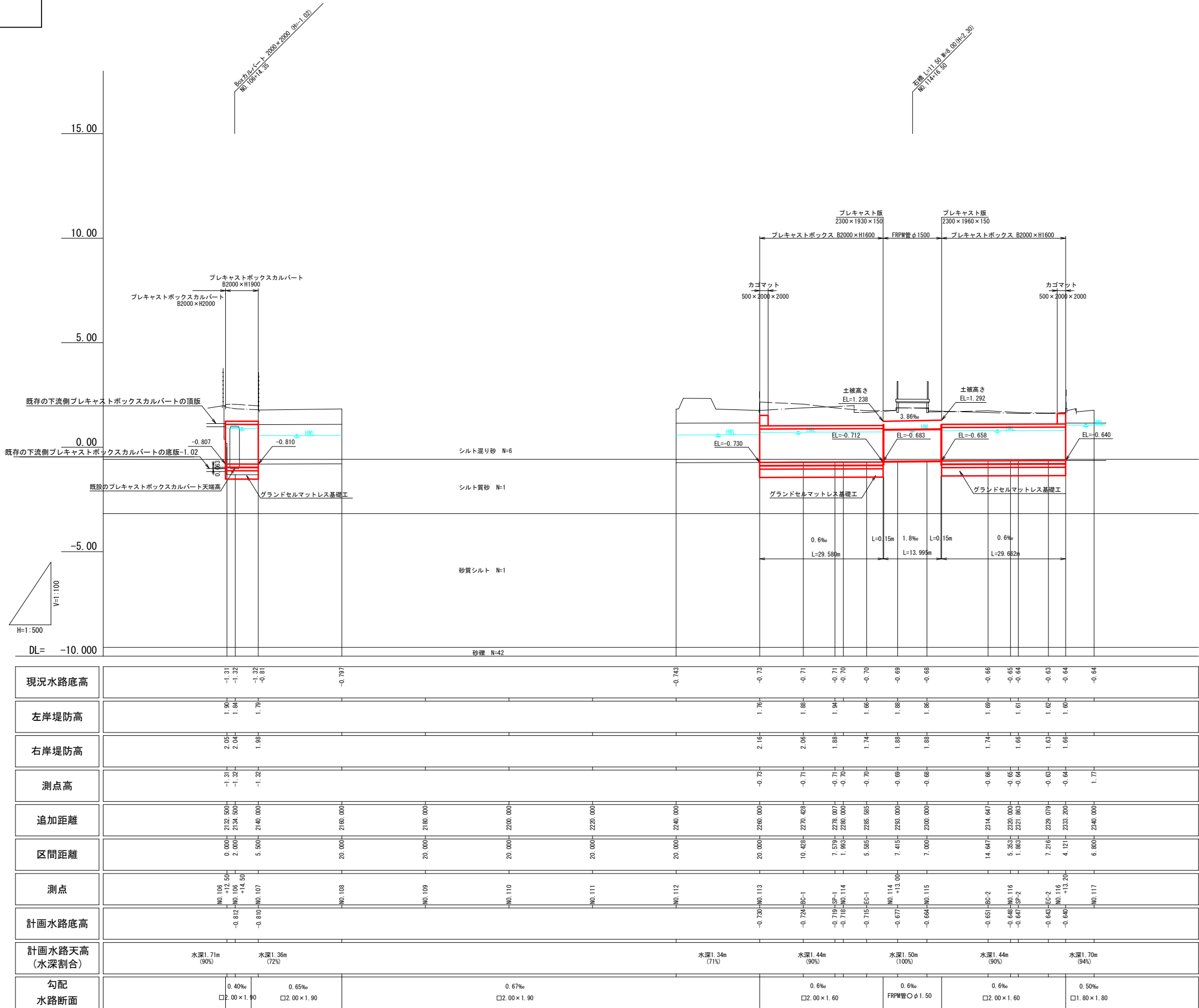
図示

縦断面図

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

縦断面図

V=1:100
H=1:500



福山市上下水道局				
2026年度（令和8年度）				
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事			
工事場所	福山市草戸町五丁目地内			
図面番号	3 — 16	縮尺	図示	
標準横断面図				

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

標準横断面図

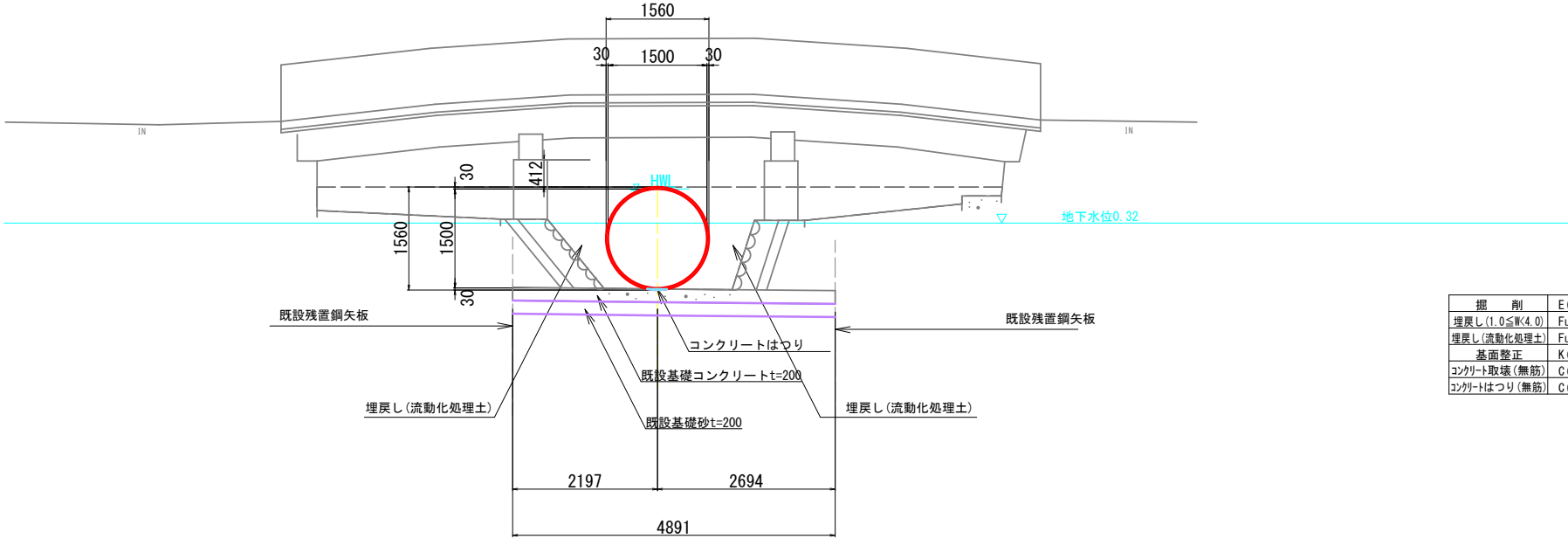
S=1:50

D= 7. 000

NO.115

GH=-0. 68

FH=-0. 664



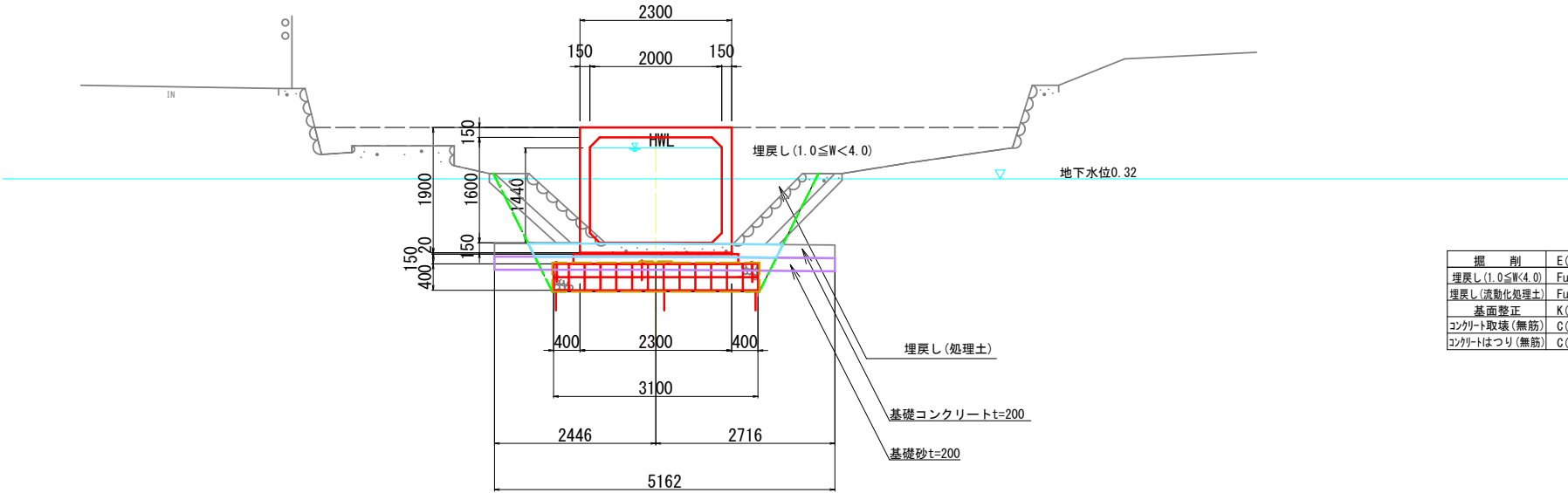
掘削	E (SE)
埋戻し (1.0≦W<4.0)	Fu (B)
埋戻し (流動化処理土)	Fu (R)
基面整正	K (SE)
コンクリート取壊 (無筋)	C (Co)
コンクリートはつり (無筋)	C (Cv)

D=14. 647

BC-2 (NO. 115+14. 647)

GH=-0. 66

FH=-0. 651



掘削	E (SE)
埋戻し (1.0≦W<4.0)	Fu (B)
埋戻し (流動化処理土)	Fu (R)
基面整正	K (SE)
コンクリート取壊 (無筋)	C (Co)
コンクリートはつり (無筋)	C (Cv)

福山市上下水道局

2026年度（令和8年度）

工事名称

沖野上1号雨水幹線築造工事

工事場所

福山市草戸町五丁目地内

図面番号

4/16

縮尺

図示

横断面図（その1）

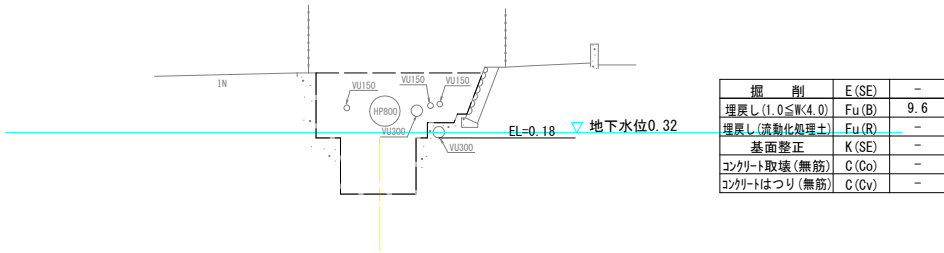
設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

横断面図（その1）

S=1:100

NO. 106+12. 50

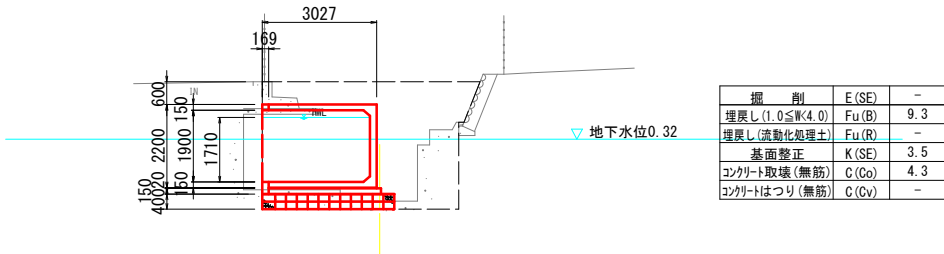
GH=-1. 31
FH=



DL=-5.00

NO. 106+14. 50

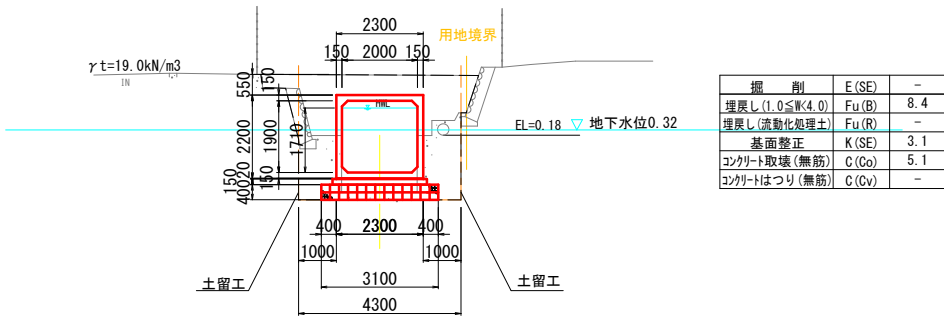
GH=-1. 32
FH=-0. 812



DL=-5.00

NO. 107

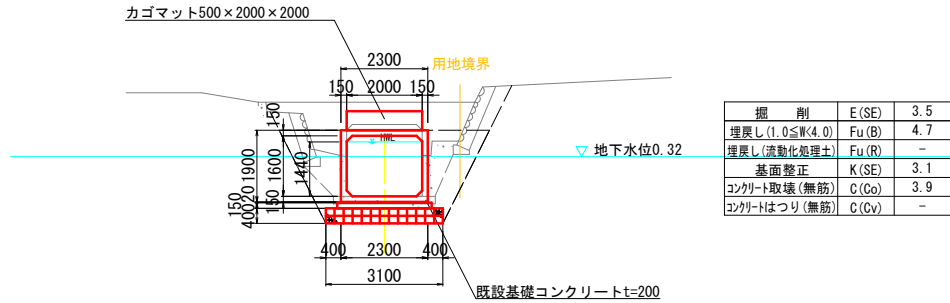
GH=-1. 32
FH=-0. 810



DL=-5.00

NO. 113

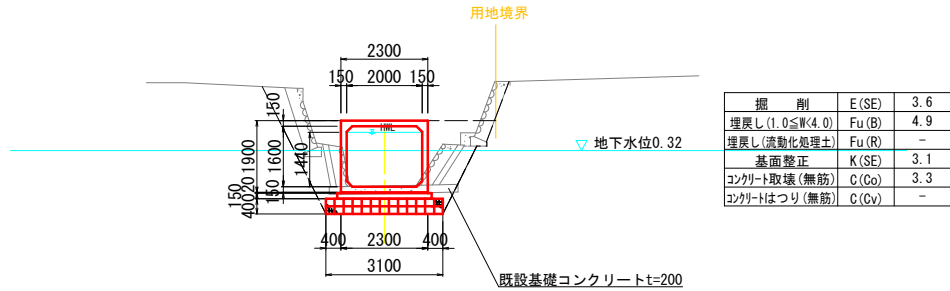
GH=-0. 73
FH=-0. 730



DL=-5.00

BC-1 (NO. 113+10. 428)

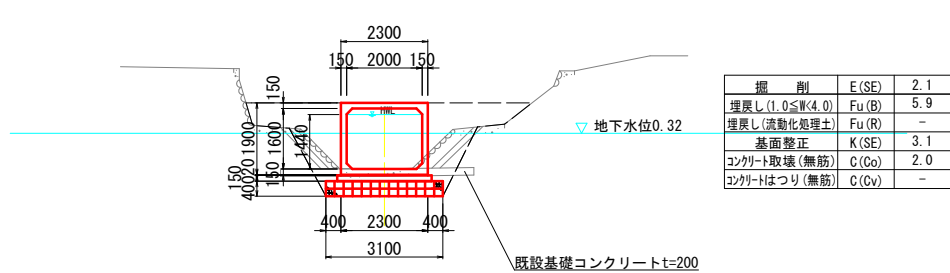
GH=-0. 71
FH=-0. 724



DL=-5.00

SP-1 (NO. 113+18. 007)

GH=-0. 71
FH=-0. 719



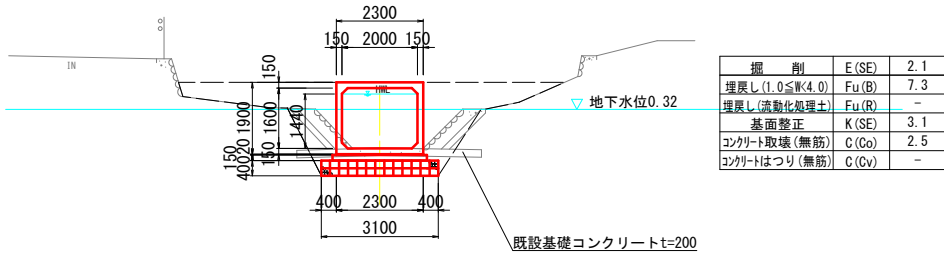
DL=-5.00

福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	5/16	縮尺	図示
横断面図（その2）			

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

横断面図（その2）
S=1:100

D= 7.578
EC-1 (NO. 114+5.585)
GH=-0.70
FH=-0.715

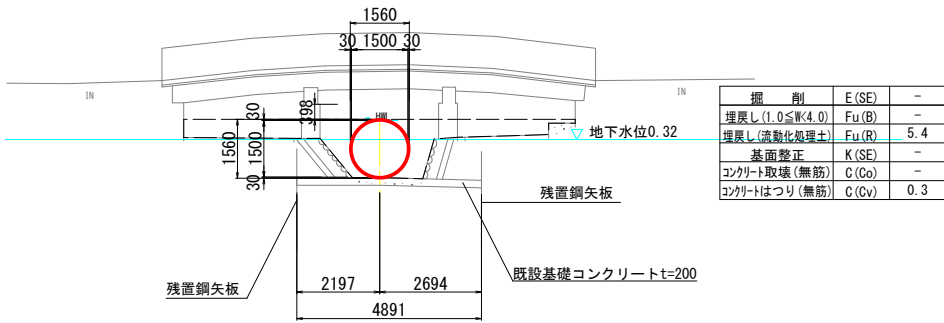


DL=-5.00

L=4.4
断面
E (SE) 同断面
Fu (B) 同断面
Fu (R) 同断面
K (SE) 同断面
C (Co) 同断面
C (Cv) 同断面

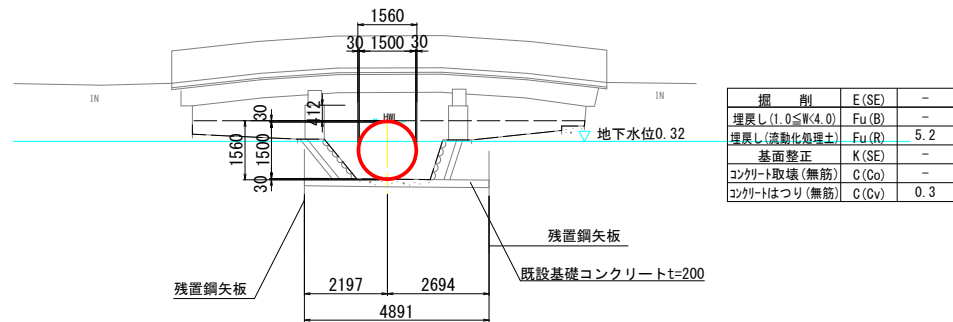
L=3.0
断面
Fu (B) 同断面
Fu (R) 同断面
C (Cv) 同断面

D=7.415
NO. 114+13.00
GH=-0.69
FH=-0.677



DL=-5.00

D= 7.000
NO. 115
GH=-0.68
FH=-0.664

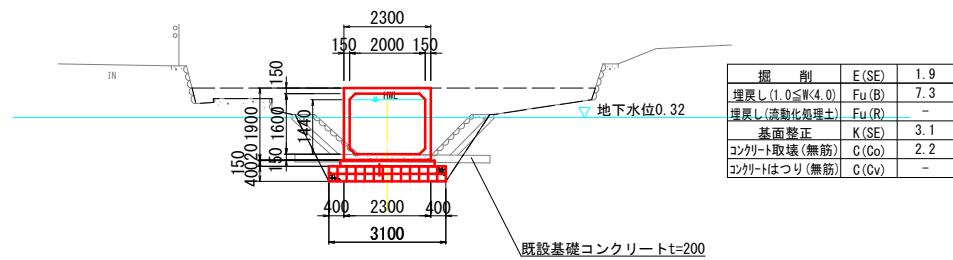


DL=-5.00

L=3.1
断面
E (SE) 同断面
Fu (B) 同断面
Fu (R) 同断面
K (SE) 同断面
C (Co) 同断面
C (Cv) 同断面

L=11.5
断面
E (SE) 同断面
Fu (B) 同断面
Fu (R) 同断面
K (SE) 同断面
C (Co) 同断面
C (Cv) 同断面

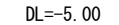
D=14.647
BC-2 (NO. 115+14.647)
GH=-0.66
FH=-0.651



DL=-5.00

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

S=1 : 100

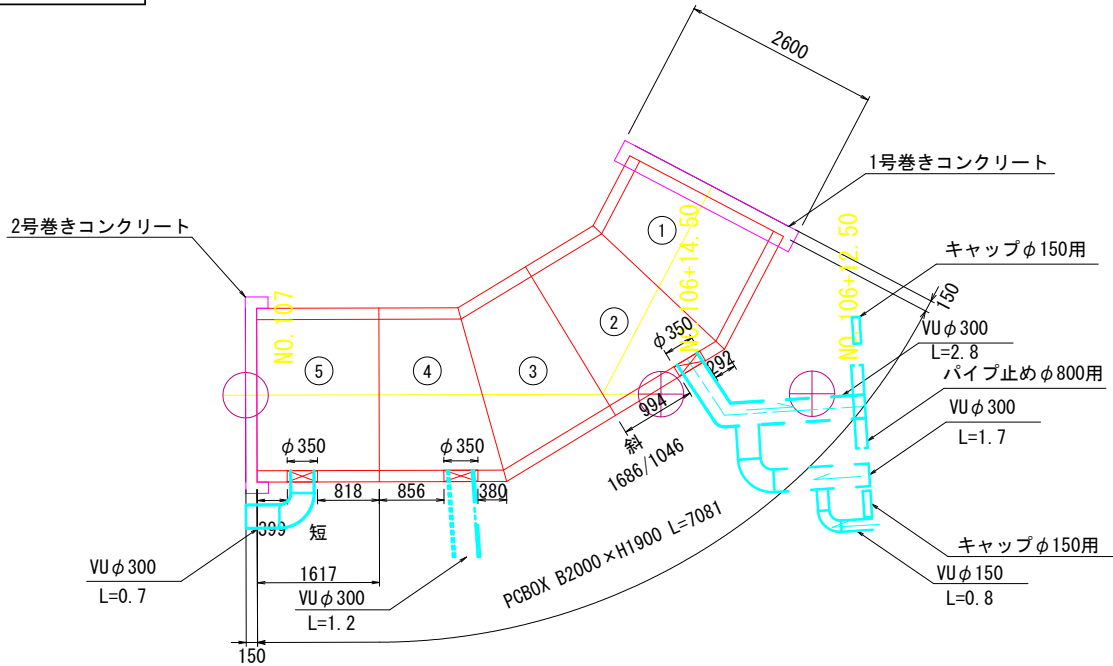


福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	7/16	縮尺	図示
プレキャストボックスカルバート割付図 平面図 縦断面図 横断面図			

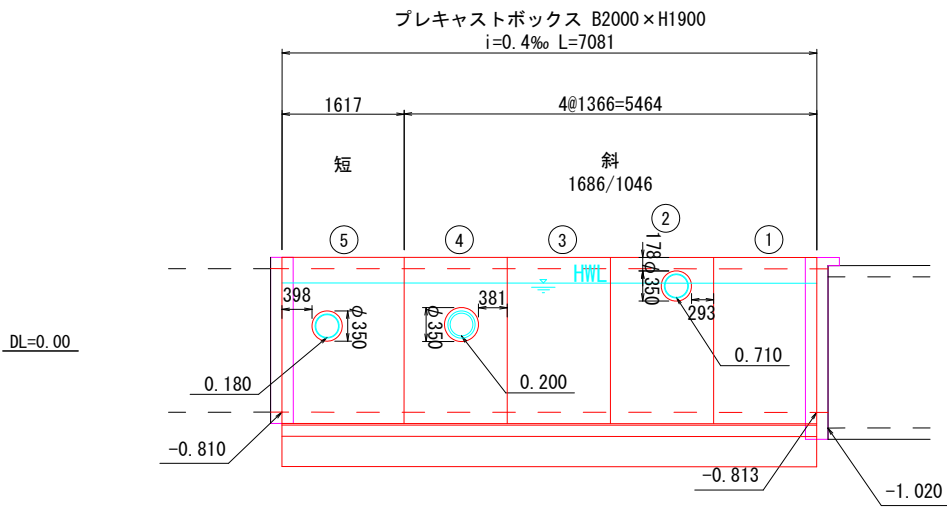
設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

プレキャストボックスカルバート割付図

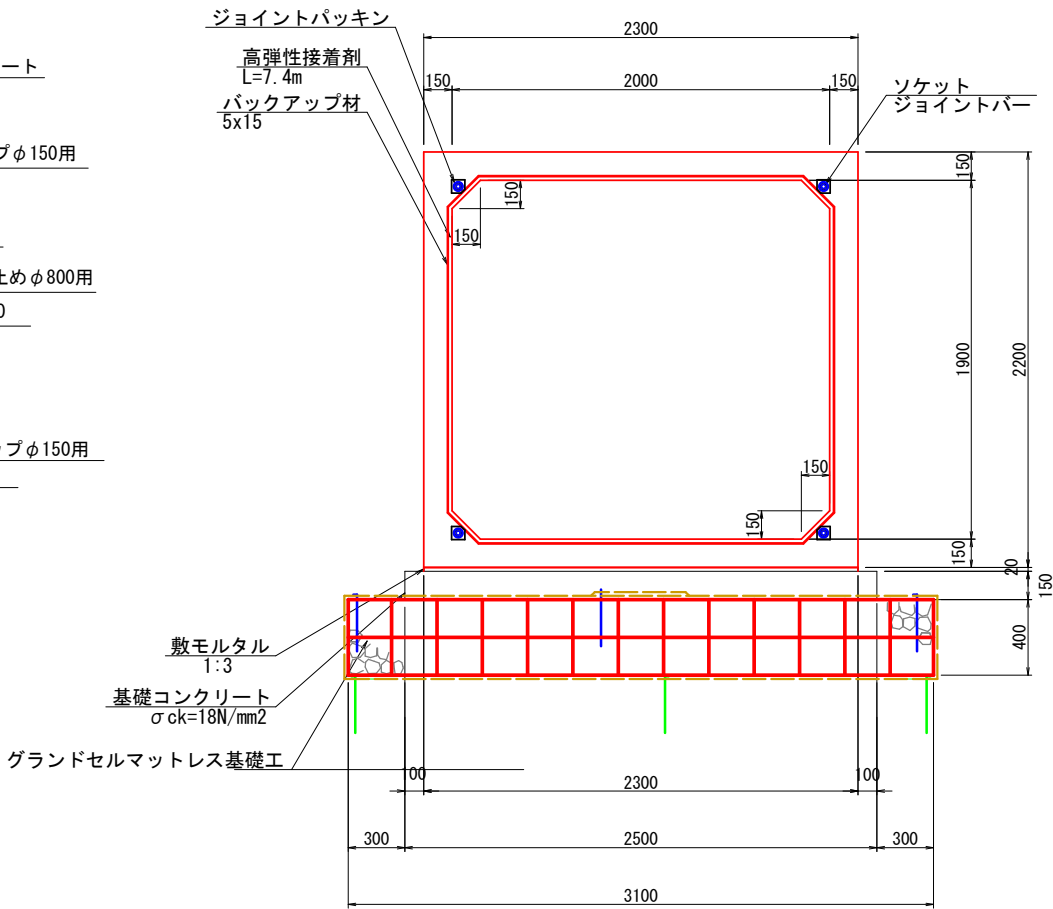
平面図 S=1:50



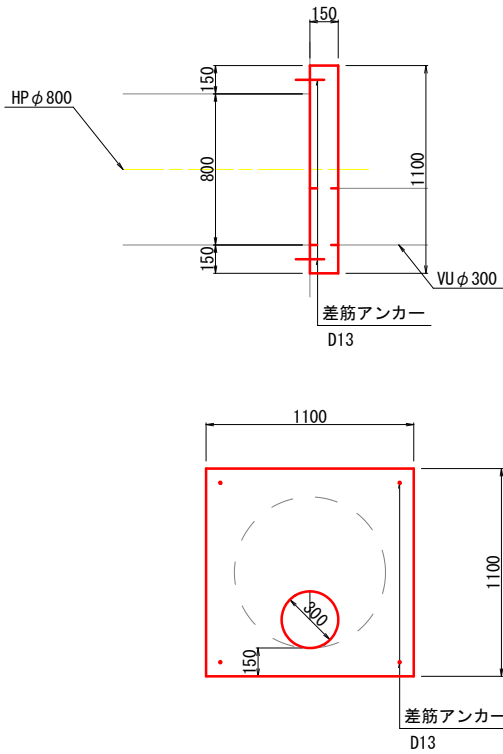
縦断面図 S=1:50



横断面図 S=1:20



パイプ止めφ800 S=1:20



数量表		1ヶ所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	0.17
型枠	無筋	m2	1.20
差筋アンカー	D13	kg	0.60
コンクリート削孔		孔	4

設計条件

土 か ぶ り		0.5~0.8m	
項 目	単 位	数 値	
輪 荷 重	-----	T-245	
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	土	kN/m3	19
許容応力度	コンクリート設計基準強度	N/mm2	40
	コンクリート曲げ圧縮応力度	N/mm2	14
	コンクリートせん断応力度	N/mm2	0.27
	鉄筋引張応力度 (SD295)	N/mm2	160
土 圧 係 数			0.5

数 量 表

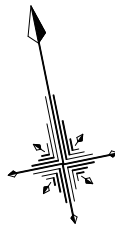
名 称	規 格 ・ 寸 法 ・ 算 式	数量	単位	備 考
PCボックスカルバート (TBコーキング工法)	2000 x 1900 x 1617 短尺品	1	本	BOX番号5 VU管φ300用(側壁開口φ350)、差筋アンカー付 参考重量 5.275t
	2000 x 1900 x 1686/1046 片斜品	2	本	BOX番号2.4 VU管φ300用(側壁開口φ350)付
	2000 x 1900 x 1686/1046 片斜品	1	本	BOX番号3
	2000 x 1900 x 1686/1046 片斜品	1	本	BOX番号1 差筋アンカー付
	合計	5	本	
高 弾 性 接 着 材	7.4 x 4	29.6	m	20 x 15
敷 モ ル タ ル	0.020 x 2.300 x 7.081	0.326	m3	t=20mm
基礎コンクリート	0.150 x 2.500 x 7.081	2.655	m3	t=150mm
基 礎 型 枠	0.150 x 2 x 7.081	2.124	m2	
グラウンドセルマットレス	3.100 x 7.081	21.951	m2	t=400mm

福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	8/16	縮尺	図示
プレキャストボックスカルバート割付図 平面図			

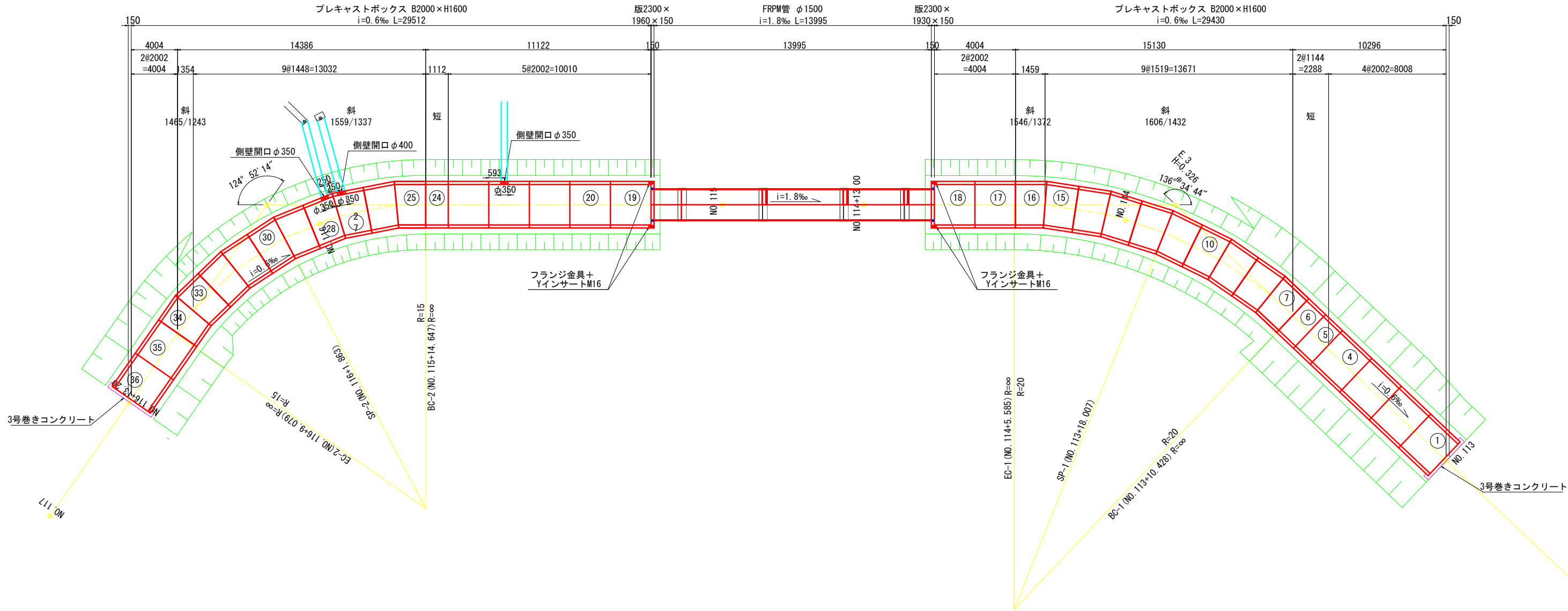
設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

プレキャストボックスカルバート割付図

平面図 S=1:100



S=1:100

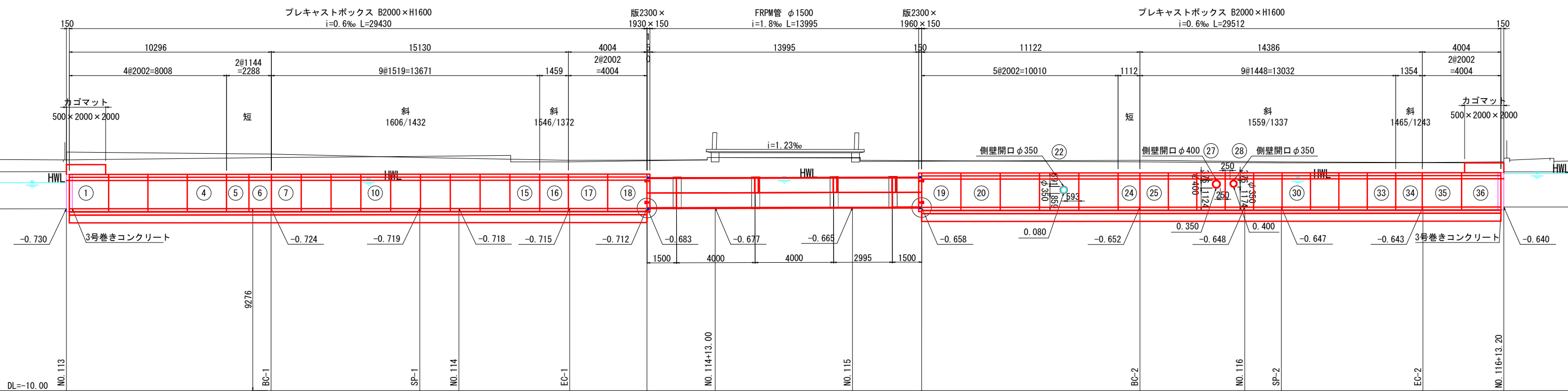


福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	9/16	縮尺	図示
プレキャストボックスカルバート割付図 縦断面図			

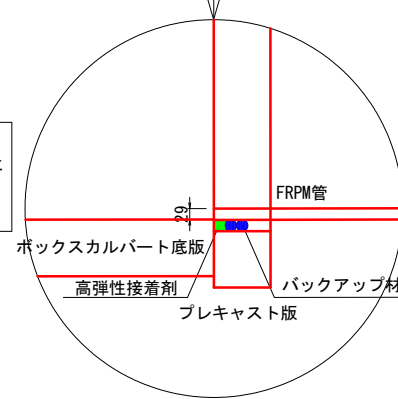
設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

プレキャストボックスカルバート割付図

縦断面図 S=1:100

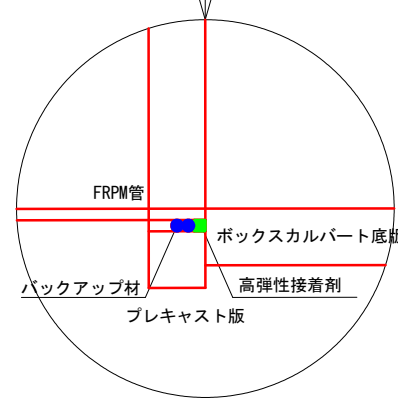


拡大図
S=1:10



FRPM管とプレキャスト版を設置し、バックアップ材と高弾性接着剤注入後に
ボックスカルバートを設置する

拡大図
S=1:10



FRPM管とプレキャスト版を設置し、バックアップ材と高弾性接着剤注入後に
ボックスカルバートを設置する

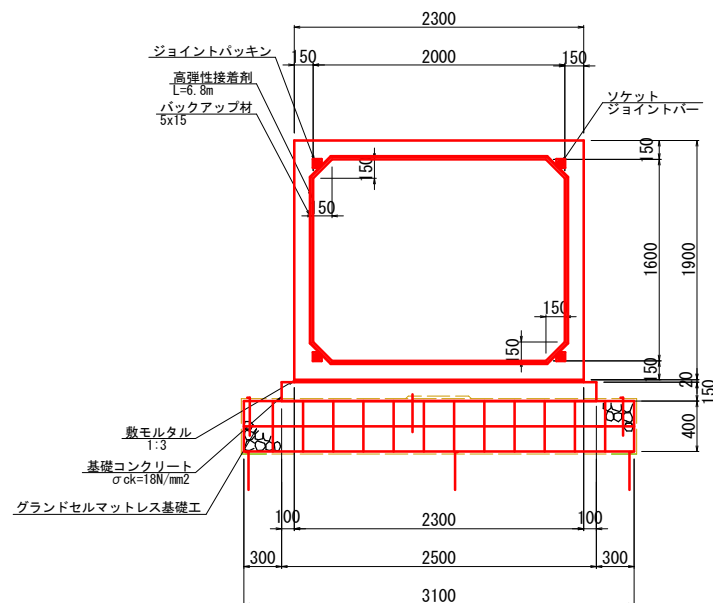
福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	10 16	縮尺	図示
プレキャストボックスカルバート割付図 横断面図			

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

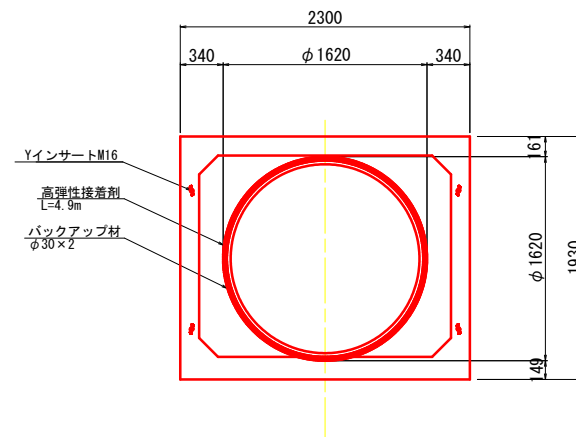
プレキャストボックスカルバート割付図

横断面図 S=1:30

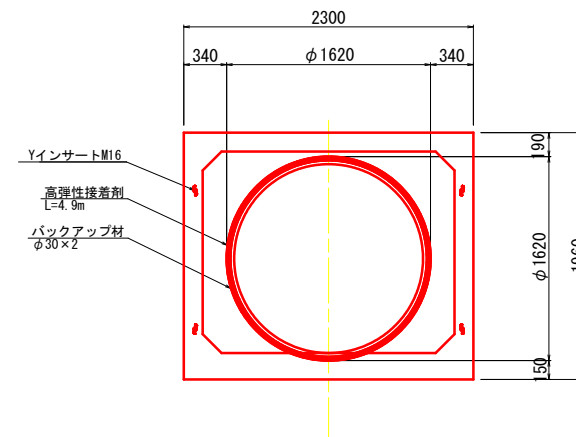
PC-BOX B2000 × H1600



プレキャスト版(下流側) 2300×1930×150
(マンホールTBジョイント)

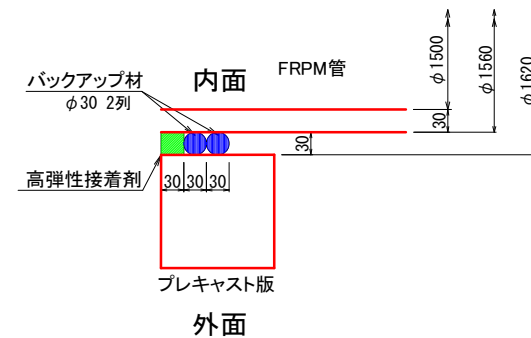


プレキャスト版(上流側) 2300×1960×150
(マンホールTBジョイント)



マンホールTBジョイント

継手部詳細図 S=1:5



数量表

※TB目地+2mmの伸び考慮している

名 称	規 格 ・ 寸 法 ・ 算 式	数量	単位	備 考
	2000×1600×2002 標準品	8	本	BOX番号 2～4. 17. 20. 21. 23. 35 T-245設計 参考質量 6. 075t
PC ボックスカルバート (TBコーキング工法)	2000×1600×2002	2	本	BOX番号 1. 36 差筋アンカー付
	2000×1600×2002	2	本	BOX番号 18. 19 フランジ金具M16付
	2000×1600×2002	1	本	BOX番号 22 VU管φ300用(側壁開口φ350)付
	2000×1600×1144 短尺品	2	本	BOX番号 5. 6
	2000×1600×1606/1432 片斜品	9	本	BOX番号 7～15
	2000×1600×1546/1372 片斜品	1	本	BOX番号 16
	2000×1600×1112 短尺品	1	本	BOX番号 24
	2000×1600×1559/1337 片斜品	7	本	BOX番号 25. 26. 29～33
	2000×1600×1559/1337 片斜品	1	本	BOX番号 27 VU管φ350用(側壁開口φ400)付
	2000×1600×1559/1337 片斜品	1	本	BOX番号 28 VU管φ300用(側壁開口φ350)付
	2000×1600×1465/1243 片斜品	1	本	BOX番号 34
	合 計	36	本	延長 L=29. 430+29. 512=58. 942m
プレキャスト版	2300×1930×150	1	枚	側壁開口φ1620、YインサートM16付 参考質量 0. 892t
	2300×1960×150	1	枚	側壁開口φ1620、YインサートM16付 参考質量 0. 918t
フ ラ ン ジ 金 具	M16	8	組	HTボルト、ナット、ワッシャー/組
高 弾 性 接 着 剤	6. 8×34	231. 20	m	20×15
	4. 9×2	9. 80	m	マンホールTBジョイント 30×30
バックアップ材	4. 9×2	9. 80	m	φ30×2
敷 モ ル タ ル	0. 020×2. 300×(58. 942+0. 30)	2. 725	m ³	t=20mm
基礎コンクリート	0. 150×2. 500×(58. 942+0. 30)	22. 216	m ³	t=150mm
基 礎 型 枠	0. 150×2×(58. 942+0. 30)	17. 773	m ²	
グランドセルマットレス	3. 100×(58. 942+0. 30)	183. 650	m ²	t=400mm

設計条件

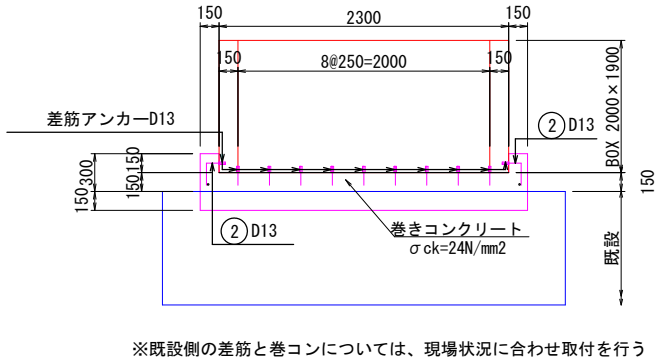
土 か ぶ り		0.5~1.2m	
項 目		単 位	数 値
輪 荷 重		—	T-245
単 位 体 積 重 量	鉄筋コンクリート	kN/m ³	24.5
	土	kN/m ³	19.0
コンクリート設計基準強度		N/mm ²	40.0
応 許 力 容 度	コンクリート曲げ圧縮応力度	N/mm ²	14.0
	コンクリートせん断応力度	N/mm ²	0.27
	鉄筋引張応力度 [SD295]	N/mm ²	160
土 圧 係 数			0.5

福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	11/16	縮尺	図示
接続詳細図 1号巻コンクリート			

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

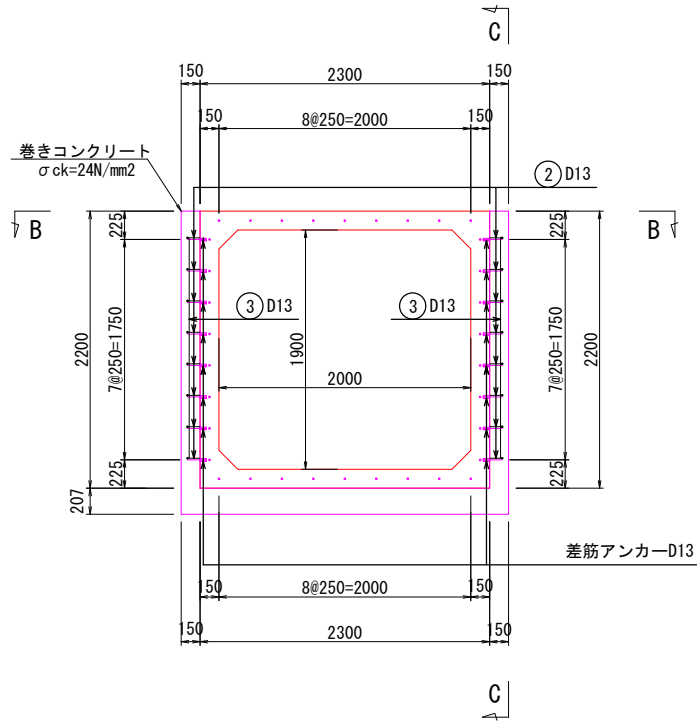
接続詳細図
1号巻コンクリート S=1:30

平面図 (B-B)

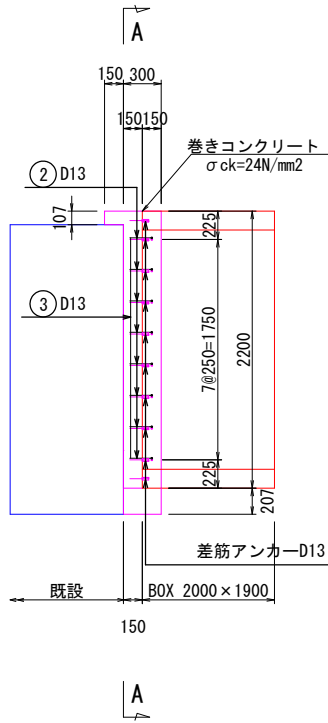


※既設側の差筋と巻コンについては、現場状況に合わせ取付を行う

断面図 (A-A)

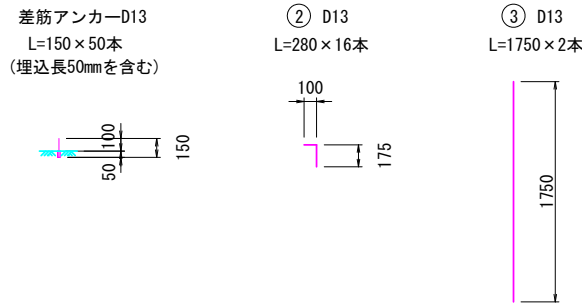


側面図 (C-C)



※既設側の差筋と巻コンについては、現場状況に合わせ取付を行う

鉄筋加工図



鉄筋重量表 (1ヶ所当り)

番号	径	長さ	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	D13	150	50	0.995	0.149	7.5	差筋アンカー
2	D13	275	16	0.995	0.274	4.4	② D13
3	D13	1750	2	0.995	1.741	3.5	③ D13
合計						D13 7.9 kg	
						差筋アンカー-D13 7.5 kg	50本

材料表 (1ヶ所当り)

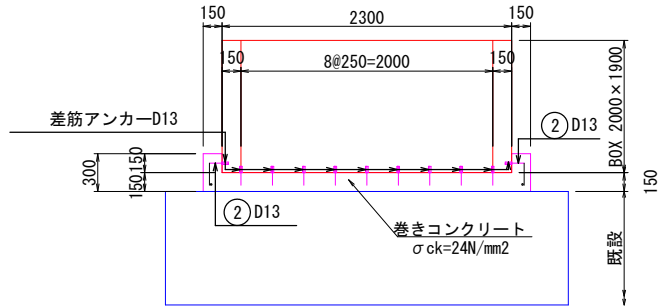
種別	規格	算式	数量
巻きコンクリート	σck=24N/mm²	$2.200 \times 0.300 \times 0.150 \times 2 + 0.207 \times 0.30 \times 2.60 + 0.107 \times 0.15 \times 2.60 + (2.300 \times 2.200 - 2.000 \times 1.900 + 0.150 \times 0.150 \times 2) \times 0.150$	0.60 m³
同上型枠		$2.200 \times (0.300 + 0.150) \times 2 + 0.207 \times 0.30 \times 2 + 0.207 \times 2.60 + 0.107 \times 0.15 \times 2 + 0.107 \times 2.60 + \{(1.700 + 1.600) \times 2 + 0.15\sqrt{2} \times 4\} \times 0.150$	4.07 m²

福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	12/16	縮尺	図示
接続詳細図 2号巻コンクリート			

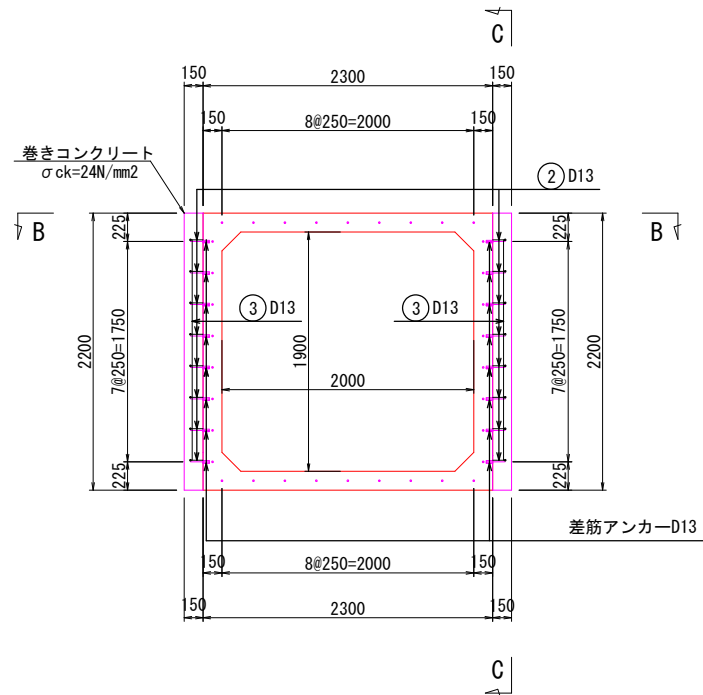
設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

接続詳細図
2号巻コンクリート S=1:30

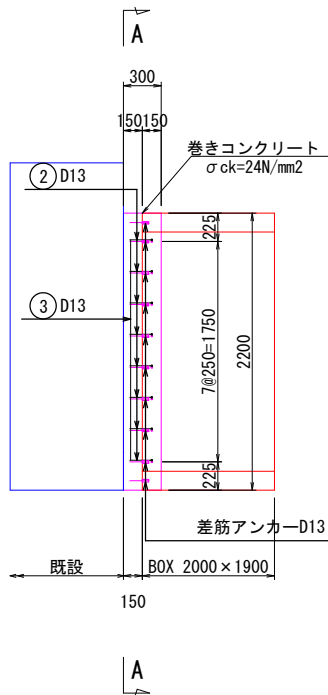
平面図 (B-B)



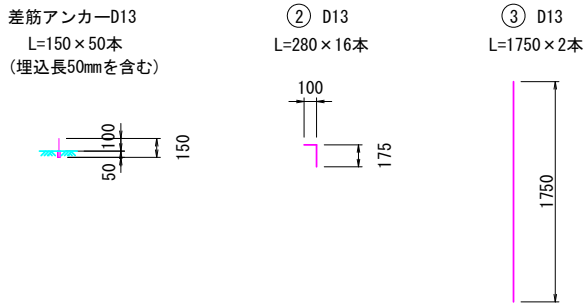
断面図 (A-A)



側面図 (C-C)



鉄筋加工図



鉄筋重量表 (1ヶ所当り)

番号	径	長さ	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	D13	150	50	0.995	0.149	7.5	差筋アンカー
2	D13	275	16	0.995	0.274	4.4	
3	D13	1750	2	0.995	1.741	3.5	
合計						D13 7.9 kg	
						差筋アンカーD13 7.5 kg	50 本

材料表 (1ヶ所当り)

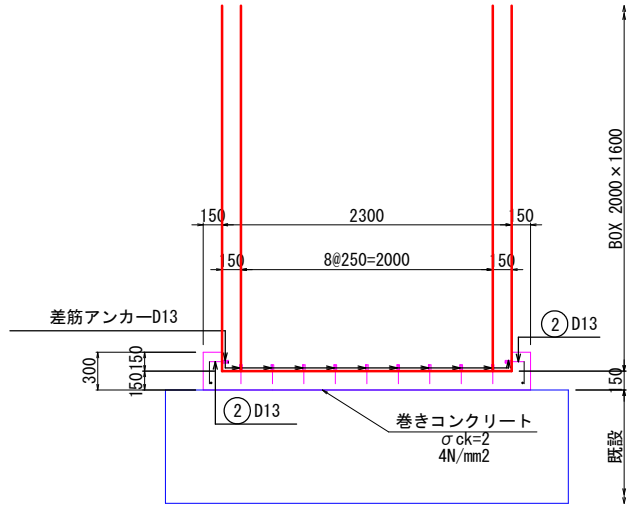
種別	規格	算式	数量
巻きコンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	$2.200 \times 0.300 \times 0.150 \times 2$ $+ (2.300 \times 2.200 - 2.000 \times 1.900 + 0.150 \times 0.150 \times 2) \times 0.150$	0.39 m ³
同上型枠		$2.200 \times (0.300 + 0.150) \times 2$ $+ \{ (1.700 + 1.600) \times 2 + 0.15\sqrt{2} \times 4 \} \times 0.150$	3.10 m ²

福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	13/16	縮尺	図示
接続詳細図 3号巻コンクリート			

設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

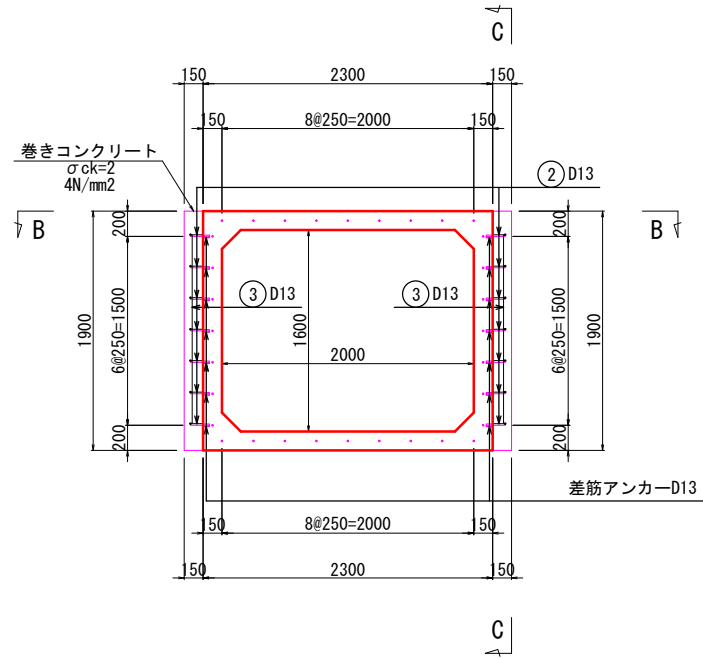
接続詳細図
3号巻コンクリート S=1:30

平面図 (B-B)

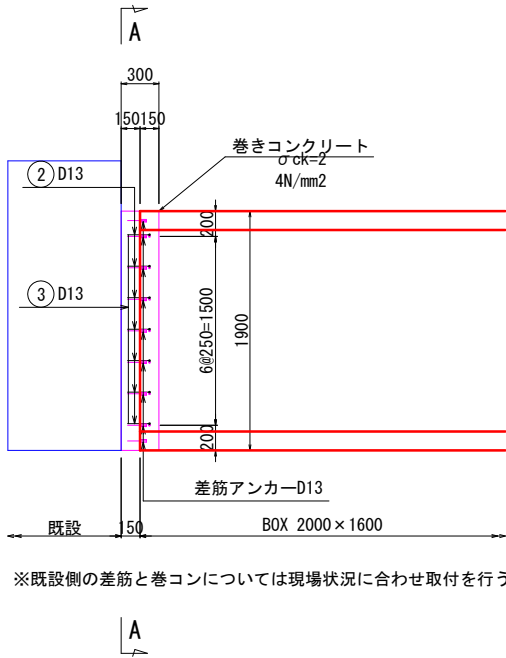


※既設側の差筋と巻コンについては現場状況に合わせ取付を行う

断面図 (A-A)



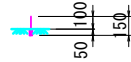
側面図 (C-C)



※既設側の差筋と巻コンについては現場状況に合わせ取付を行う

鉄筋加工図

差筋アンカーD13
L=150×46本
(埋込長50mmを含む)



② D13
L=280×14本



③ D13
L=1500×2本



鉄筋重量表

(1ヶ所当り)

番号	径	長さ	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	D13	150	46	0.995	0.149	6.9	差筋アンカー
2	D13	275	14	0.995	0.274	3.8	
3	D13	1500	2	0.995	1.493	3.0	
合計						D13 6.8 kg	
						差筋アンカーD13 6.9 kg	46本

材料表

(1ヶ所当り)

種別	規格	算式	数量
巻きコンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	$1.900 \times 0.300 \times 0.150 \times 2$ $+ (2.300 \times 1.900 - 2.000 \times 1.600 + 0.150 \times 0.150 \times 2) \times 0.150$	0.35 m ³
同上型枠		$1.900 \times (0.300 + 0.150) \times 2$ $+ \{ (1.700 + 1.300) \times 2 + 0.15\sqrt{2} \times 4 \} \times 0.150$	2.74 m ²

福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	14/16	縮尺	図示
グランドセルマットレス基礎工詳細図			

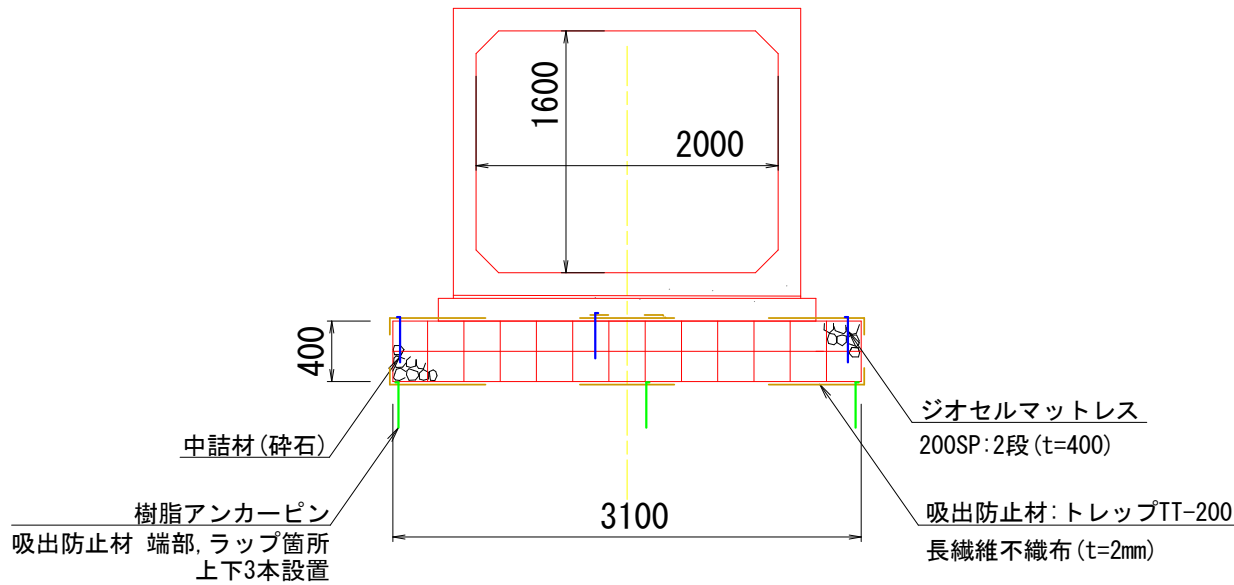
設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

グランドセルマットレス基礎工詳細図

標準断面図

BC-1 ボックスカルバート2000×1600

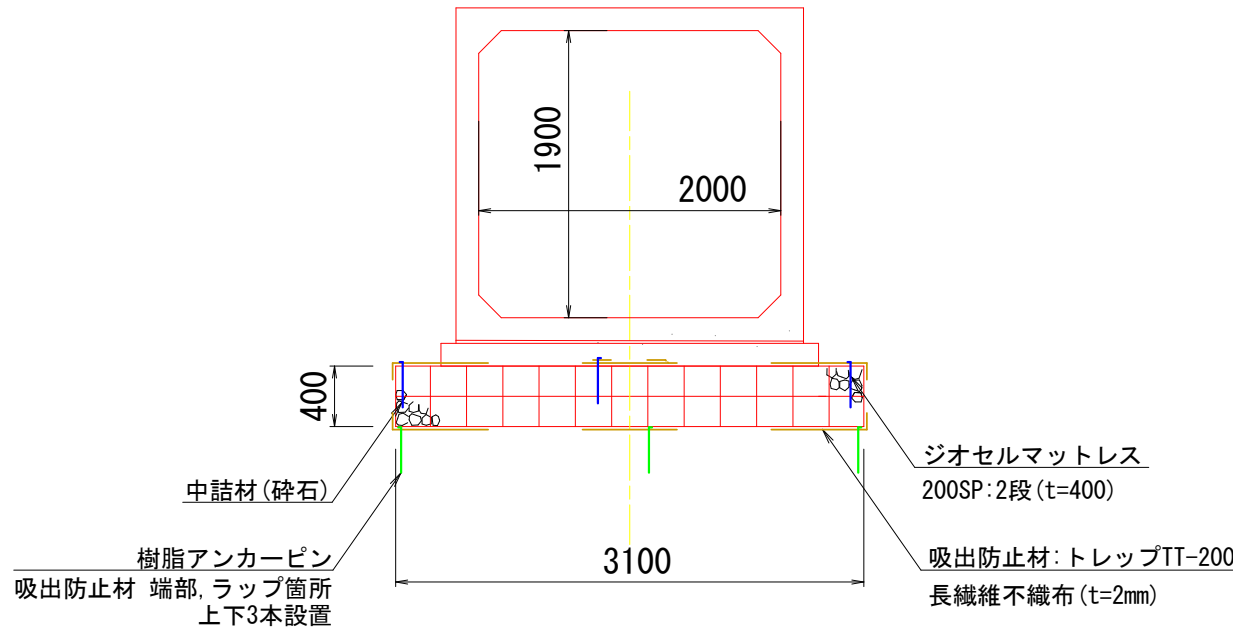
荷重条件T-245



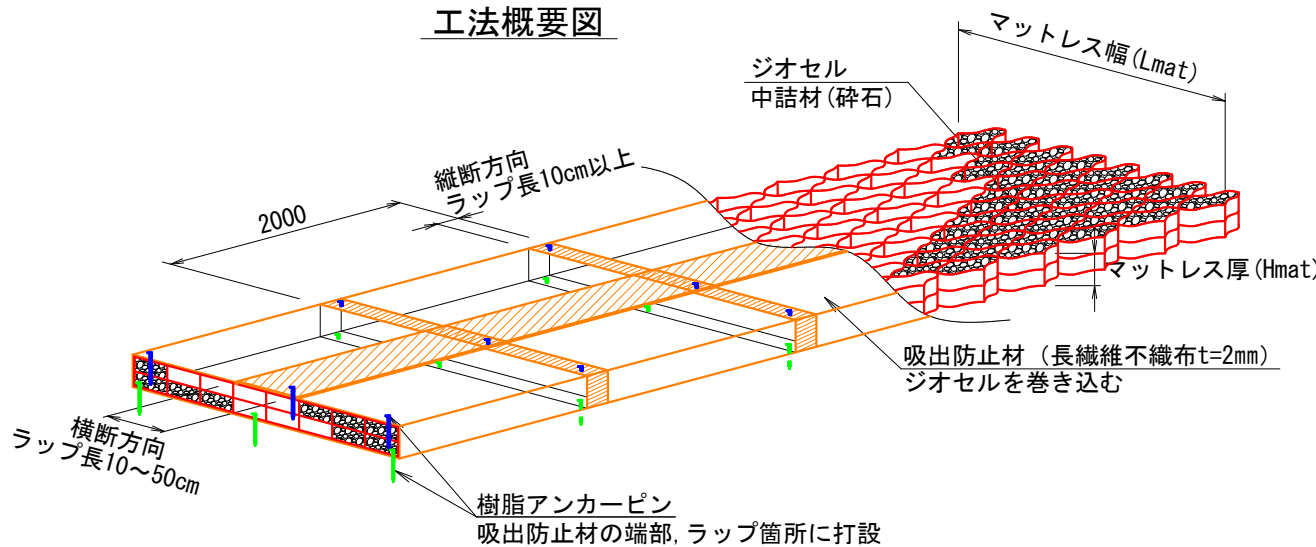
標準断面図

No. 107 ボックスカルバート2000×1900

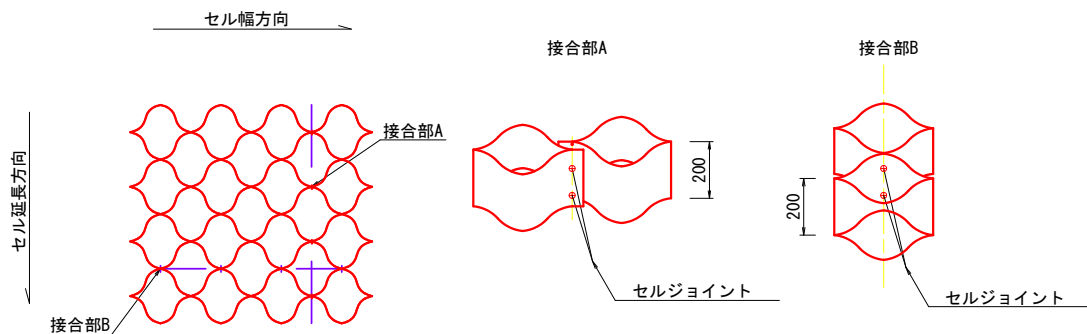
荷重条件T-245



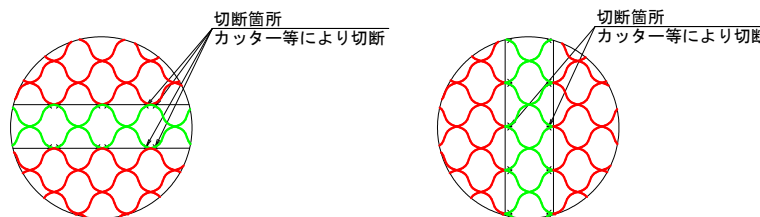
工法概要図



セル相互接合部詳細



グランドセル切断部説明図

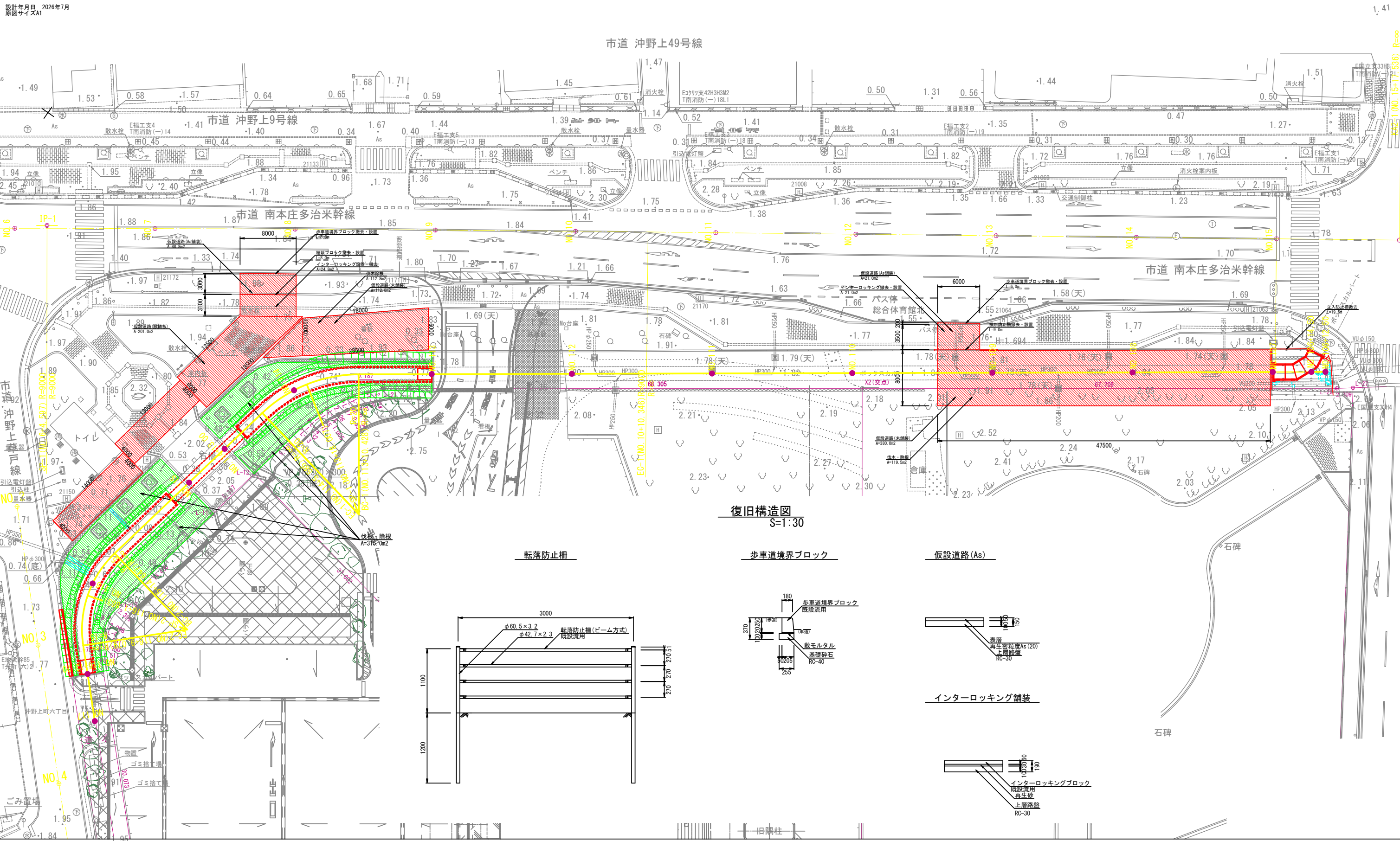


特記事項	NETIS:CG-160016-VR
施工基面	・適切な排水処理を施すこと ・不陸調整し、基面整正を施すこと
安全管理	・安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること
基礎材料	・砕石、再生砕石を使用すること ・締固めは、最大乾燥密度の90%以上を満足すること
基礎地盤	・設計条件との違いがみられる場合は、再度調査を行い設計の見直しなど適切な処理を行うこと
ジオセル	・製品は実物大実験などを行い性能を立証されているものとする ・シートと砕石のせん断抵抗角を確認している製品とする ・溶着強度と同等以上の接続強度を有する

福山市上下水道局			
2026年度（令和8年度）			
工事名称	沖野上1号雨水幹線築造工事		
工事場所	福山市草戸町五丁目地内		
図面番号	16/16	縮尺	図示
仮設整備図			

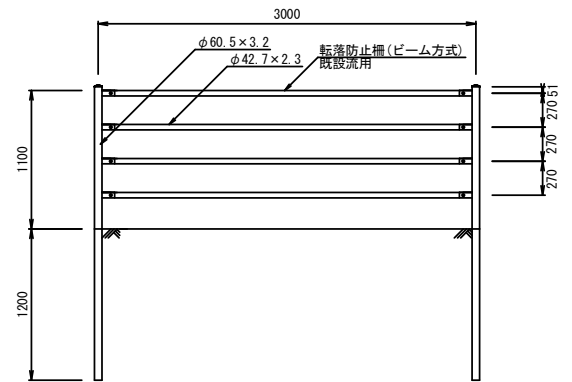
設計年月日 2026年7月
原図サイズA1

仮設整備図
S=1:250

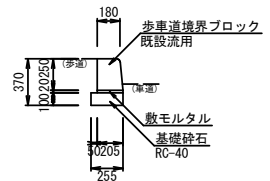


復旧構造図
S=1:30

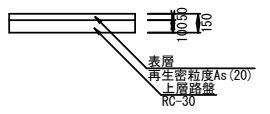
転落防止柵



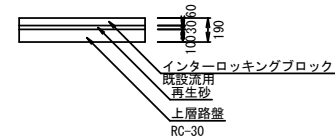
歩車道境界ブロック



仮設道路(As)



インターロッキング舗装



参 考 图 书

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.13%
SPK25040001
標準以外
労務構成比: 71.97%
材料構成比: 7.90%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0001 表
1
標準単価: 2,678.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=8 土砂 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0002

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0002 表

1 m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0003

コンクリートはつり
平均はつり厚3cm以下

SPK25040112

単第0 -0003 表

1
標準単価： m2 当り
5,318.40000

機械構成比： 1.44% 労務構成比： 95.30% 材料構成比： 3.26% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.40%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	37.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	31.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	22.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0004

コンクリートはつり

SPK25040112

單第0 -0003 表

平均はつり厚3cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.44%

勞務構成比：

95.30%

材料構成比:

3.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

5,318.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0004 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.29% 労務構成比: 82.13% 材料構成比: 8.58% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,025.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	7.79%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.41%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.09%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	40.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0006

埋戻し

SPK25040020

單第0 -0004 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.29%

勞務構成比: 82.13%

82.13% 材料構成比: 8.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

2,025.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

埋戻
流動化処理土
機械構成比：4.02%

SPK25040157
コンクリートポンプ車打設
労務構成比：13.36%

材料構成比：82.62%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0005 表

1
標準単価：m3 当り
26,692.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.99%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	6.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
流動化処理土	81.82%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000001005 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0008

埋戾

流動化処理土

機械構成比:

SPK25040157

コンクリートポンプ車打設

13.36%

材料構成比: 82.62%

82.62%

市場単価構成比: 0.00%

单第0 -0005 表

標準単価：
1

1

m3 当り

26,692.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

基面整正

SPK25040017

單第0 -0006 表

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 508.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)

単第0 -0007 表
1
標準単価: 2,990.40000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=17 距離3.5km以下(3.0km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

単第0 -0008 表
1
標準単価: 3,317.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

頁0 -0012

流動化処理土運搬 アジテータトラック

V0000001001

單第0 -0009 表

混合容量5.0m³

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

アジテータトラック運転 トラック架装型

V0000001002

單第0 -0010 表

目 当り

混合容量5.0m³

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 875.29000

SPK25040002

DID区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)

単第0 -0011 表

1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=12 距離3.5km以下(3.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0015

ボックスカルバート

SPK25040092

単第0 -0012 表

据付 1.25<B 2.5_1.25<H 2.5

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 3.01%

労務構成比: 13.20%

材料構成比: 83.79%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

146,240.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.49%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]25t吊		KTPC00014 KTPT00014
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.30%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
PCボックスカルバート 各種	83.79%		ボックスカルバート RC B1500×H1500×L2000 T-25 土被り0.2~3.0m		F0000002000 TTPT00161
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=4 1.25<B 2.5_1.25<H 2.5 E=2000 【F】RCボックスカルバート(個) G=1 PC鋼材による縦締め無し			B=3 製品長2.0m/個 D=45 ボックスカルバート(各種) F=3 均しコンクリート H=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0016

ボックスカルバート

SPK25040092

單第0 -0012 表

据付 $1.25 < B$ $2.5 - 1.25 < H$ 2.5

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 3.01% **勞務構成比:**

13.20%

材料構成比: 83.79%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

146,240.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

かごマット設置(スロープ型)
かご厚さt=50cm 亜鉛アルミメッキ

SPK25040210

単第0 -0013 表

割栗石径15～20cm

1 m2 当り
標準単価： 15,595.00000

機械構成比： 2.95% 労務構成比： 22.88% 材料構成比： 74.17% 市場単価構成比： 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2011 山積0.8/平積0.6m3	2.84%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2011 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00157 MTPT00157
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	16.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.12%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
かごマット-スロープ型- 長期性能型(めっき鉄線) 高さ50cm	46.48%		かごマットt=50cmメッキ鉄線		TTPC00039 TTPT00039
割ぐり石 200～150mm	21.34%		詰石割栗石 150-200mm		TTPC00007 TTPT00007

施工単価表

頁0 -0018

かごマット設置(スロープ型)

SPK25040210

單第0 -0013 表

かご厚さ $t=50\text{cm}$ 亜鉛アルミメッキ

割栗石径15~20cm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95% 労務構成比:

22.88%

材料構成比: 74.17%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

15,595.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

1号巻コンクリート

V0000002001

單第0 -0014 表

$$\underline{2600 \times 2407 \times 450}$$

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0015 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比:

61.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0021

コンクリート

SPK25040157

單第0 -0015 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50% 勞務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0016 表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.66%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.14%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.51%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0023

鉄筋
SD345 D13

SPK25040335

単第0 -0017 表

1
t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 69.62%

材料構成比: 30.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 406,140.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	39.58%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	30.38%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0024

2号巻コンクリート

V0000002002

單第0 -0018 表

$$\underline{2600 \times 2200 \times 300}$$

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

3号巻コンクリート

V0000002003

單第0 -0019 表

$$\underline{2600 \times 1900 \times 300}$$

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

グランドセル材料

V0000003001

單第0 -0020 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

グランドセル展開・小運搬配置

V0000003002

單第0 -0021 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

不織布配置

V0000003003

單第0 -0022 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

アンカーピン打設

V0000003004

單第0 -0023 表

100

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

充填・転圧

V0000003005

單第0 -0024 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

機-18_バックホウ運転
クローラ[標準]山0.8m3(平0.6)

S9042
排出ガス対策型1次基準

單第0 -0025 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

硬質塩化ビニル管布設工

SG1D0006001

單第0 -0026 表

呼び径 150mm

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

硬質塩化ビニル管布設工

SG1D0006001

單第0 -0027 表

呼び径 300mm

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

硬質塩化ビニル管布設工

SG1D0006001

單第0 -0028 表

呼び径 350mm

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

既設管閉塞
φ800用

V0000004001

單第0 -0029 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0030 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比:

61.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0037

コンクリート

SPK25040157

單第0 -0030 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比:	3.50%	労務構成比:	34.96%	材料構成比:	61.54%	市場単価構成比:	0.00%
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------

標準単価： 36,531.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0031 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53% 材料構成比: 2.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0039

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0031 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 勞務構成比: 95.53%

材料構成比: 2.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

684.28000

[illegible]

施工単価表

強化プラスチック複合管布設工
呼び径 1,500mm

SG1D0007001

単第0 -0032 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.49	人			
特殊作業員	0.98	人			
普通作業員	1.47	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.49	日			単第0-0033 表
諸雑費	1	%			#09
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=16 呼び径 1,500mm					

施工単価表

頁0 -0041

BH(クローラ型クレーン機能付)運転

SM2800007

单第0 -0033 表

山積0.45m³(平積0.35)吊能力2.9t

排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音

目 当り

[illegible]

施工単価表

鋼矢板圧入(Nmax 25)
陸上施工 2型

S0440
圧入長(m) 6以下

単第0 -0034 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			
特殊作業員	0.294	人			
とび工	0.588	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.294	日			単第0-0035 表 10/34
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.294	日			単第0-0036 表 10/34
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=1 圧入長(m)_6以下			B=1 2型		

施工単価表

頁0 -0043

機-24_油压式杭压入引拔機運轉
压入力800kN

S9128
排出ガス対策型2014規制

單第0 -0035 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

機-18_ラフテレーンクレーン運転
25t吊

S9000053

單第0 -0036 表

排出ガス対策型3次基準

目 当り

[illegible]

施工単価表

鋼矢板引抜き
陸上施工 2型

S0454
引抜長(m) 6以下

単第0 -0037 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.179	人			
特殊作業員	0.179	人			
とび工	0.357	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.179	日			単第0-0035 表 10/56
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.179	日			単第0-0036 表 10/56
諸雑費	0.1	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=1 引抜長(m)_6以下			B=1 2型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (Nmax 25)

S0458

単第0 -0038 表

1

回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.290	人			
特殊作業員	0.290	人			
とび工	0.580	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.250	日			単第0-0035 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.300	日			単第0-0036 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 圧入 (Nmax 25) C=1 陸上施工			B=1 II型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
引抜き

S0458

単第0 -0039 表

Ⅱ型

1

回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.190	人			
特殊作業員	0.190	人			
とび工	0.390	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.130	日			単第0-0035 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.190	日			単第0-0036 表
諸雑費	1	式			
* * * 単位当たり * * *	1	回			
A=5 引抜き C=1 陸上施工			B=1 Ⅱ型		

施工単価表

頁0 -0048

鋼矢板2型賃料

1回使用

S0850

供用日数34日

單第0 -0040 表

t

当り

[illegible]

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去
設置

S1050039

単第0 -0041 表

10

t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.700	日			
諸雑費	5	%			#09
* * * 合計 * * *	10	t			
* * * 単位当たり * * *	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去
撤去

S1050039

単第0 -0042 表

10

t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.000	日			
諸雑費	7	%			#09
* * * 合計 * * *	10	t			
* * * 単位当たり * * *	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

頁0 -0051

鋼製山留材賃料

S0856

單第0 -0043 表

1回使用

供用日数31日

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長= 2 . 5 m

単第0 -0044 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.098	人			1*0.0976
特殊作業員	0.293	人			3*0.0976
普通作業員	0.195	人			2*0.0976
溶液型	725.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.195	日			2*0.0976
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	0.195	日			2*0.0976
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=2.5 砂質土の削孔長(m) E=725 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=12.5 削孔時間 (T2)(分)		
G=1 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=5001 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

頁0 -0053

注入設備据付・解体
二重管ストレーナ工法（２セット）

S0746

單第0 -0045 表

現場 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

機-01_トラック(クレーン装置付)運転
ベーストラック4~4.5t積 吊能力2.9t

S9056

單第0 -0046 表

時間 当り

[illegible]

施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0047 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0048 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 発動発電機 D=1 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m		

施工単価表

頁0 -0056

工事用水中ポンプ損料

SGAD0042001

單第0 -0048 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

据付・撤去工

SG1D0042002

單第0 -0049 表

現場 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

インターロッキングブロック工(撤去再使用) SS000117
再使用目的の撤去 [規]100m2未満

單第0 -0050 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0051 表

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0060

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)

単第0 -0052 表
1
標準単価: 5,615.30000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=30 運搬距離6.5km以下(5.0km超)		

施工単価表

頁0 -0061

上層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK25040238

単第0 -0053 表

路盤材(各種) 1 m2 当り
機械構成比: 4.66% 労務構成比: 69.96% 材料構成比: 25.38% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.78%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.66%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャー RC-30	23.44%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F0000001006 TTPT00360

施工単価表

頁0 -0062

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 4.66%

労務構成比: 69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 920.81000

SPK25040238

路盤材(各種)

単第0 -0053 表

1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) C=1006 【F】路盤材(m3)			B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0063

インターロッキングブロック工(設置)

SS000115

單第0 -0054 表

直線配置

ブロック厚6cm 標準品 [規]100m²未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0064

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0055 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

52.76%

材料構成比: 46.76%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,994.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.10%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.21%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	46.58%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(歩道部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.48%

SPK25040247

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 52.76%

材料構成比: 46.76%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0055 表

1

標準単価:

m2

当り

1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2 ~ 4KL積載車給油		0.05%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=6 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(20) -(全ての費用)			B=50 E=5 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 瀝青材料無し -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

頁0 -0066

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去
コンクリート建込

SS000127

單第0 -0056 表

1 m 当日

A,B,C(支柱間隔2m)

[illegible]

施工単価表

頁0 -0067

横断・転落防止柵 防護柵撤去
土中建込

SS000153

單第0 -0057 表

1 m 当り

ビーム式・パネル式

[illegible]

施工単価表

頁0 -0068

横断・転落防止柵 ビーム又はパネルの撤去

SS000155

單第0 -0058 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0069

歩車道境界ブロック撤去
再利用

SPK25040292

単第0 -0059 表

1
m 当り
標準単価： 1,470.90000

機械構成比： 3.96% 労務構成比： 94.58% 材料構成比： 1.46% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.96%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	17.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					

施工単価表

頁0 -0070

歩車道境界ブロック撤去
再利用

SPK25040292

單第0 -0059 表

標準単価： 1,470.90000

機械構成比: 3.96% 労務構成比: 94.58% 材料構成比: 1.46% 市場単価構成比: 0.00%

[illegible]

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)

単第0 -0060 表
1
標準単価: 2,743.60000
t 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=5 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0072

防護柵設置工(Gr) 土中建込

SS000121

單第0 -0061 表

- 塗装品 Gr-B-4E

[規]21m未滿

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0073

横断・転落防止柵 土中建込
ビーム式・パネル式 [規]50m未満

SS000141

單第0 -0062 表

1 m 当日

材料別途

[illegible]

施工単価表

頁0 -0074

横断・転落防止柵 ビーム又はパネルの設置

SS000149

單第0 -0063 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0075

歩車道境界ブロック

SPK25040290

単第0 -0064 表

B種(180/205×250×600) 片斜片面R

再利用設置 RC-40

1 m 当り

機械構成比: 3.90%

労務構成比: 93.05%

材料構成比: 3.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,084.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.24%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3) 吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.66%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊作業員	34.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	33.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.63%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
再生クラッシャーラン 40~0mm	1.42%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

頁0 -0076

歩車道境界ブロック

SPK25040290

單第0 -0064 表

B種(180/205×250×600) 片斜片面R

再利⽤設置 RC-40

1

m 当り

機械構成比: 3.90% **勞務構成比:**

93.05%

材料構成比: 3.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

4,084.30000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0077

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 10km	製品長 12m以内

單第0 -0065 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0078

基本運賃

S1000009

單第0 -0066 表

運搬距離 10km

製品長 12m以内 運搬質量 47.668t

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0079

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0067 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0080

敷鉄板設置

S1050041

單第0 -0068 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0081

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0069 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0082

敷鉄板撤去

S1050043

單第0 -0070 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0083

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0071 表

$$\underline{22 \times 1219 \times 2438,513 \text{kg/枚}}$$

貸貸期間80日

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0084

伐木・伐竹(伐木除根)

SPK25040183

単第0 -0072 表

伐木(機械施工)

1 m2 当り

機械構成比: 42.17% 労務構成比: 46.02% 材料構成比: 11.81% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 36.08100

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 山積0.5/平積0.4m3	29.25%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 山積0.5/平積0.4m3		MTPC00158 MTPT00158
バックホウ用アタッチメント 切断機能付掴み装置 開口幅880～1,000mm カット最大300～400mm	12.80%		バックホウ用アタッチメント 切断機能付掴み装置 開口幅880～1,000mm カット最大300～400mm		MTPC00161 MTPT00161
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	38.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	7.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.78%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0085

伐木·伐竹(伐木除根)

SPK25040183

單第0 -0072 表

伐木(機械施工)

1

m2 当り

機械構成比: 42.17%

勞務構成比：

46.02%

材料構成比：

11.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36.08100

[illegible]

施工単価表

頁0 -0086

整地(伐木除根)

SPK25040185

単第0 -0073 表

1

m2 当り

機械構成比: 20.57% 労務構成比: 65.47% 材料構成比: 13.96% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 60.89200

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	20.57%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	37.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	27.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.96%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

運搬(伐木除根)

機械施工 除根作業有り DID区間有り

機械構成比: 58.43%

労務構成比: 30.16%

材料構成比: 11.41%

市場単価構成比: 0.00%

SPK25040189

運搬距離10.0km以下(8.5km超)

単第0 -0074 表

1

m3

当り

標準単価:

1,729.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	58.43%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00162T1 MTPT00162T1
運転手(一般)	30.16%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 除根作業有り D=29 運搬距離10.0km以下(8.5km超)		